

北海道議会時報

昭和61年第4号

第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第38巻第4号(昭和61年第4回定例会)

(表紙写真説明)

さっぽろ雪まつり

第38回さっぽろ雪まつりは、2月5日から11日まで7日間繰り広げられ、各会場合わせて史上最高の306基の国際色豊かな氷雪像などが、外国人観光客をはじめ多くの人びとを魅了した。

写真は、札幌市とミュンヘン市との姉妹提携15周年を記念した同市の代表的なローマン・バロック建築の「テアティーナ教会」の大雪像である。

(社団法人／札幌観光協会提供)

……第4号もくじ……

第4回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	8
意 見 案	10
請 願・陳 情	14

委員会 の 動 き

議会運営委員会	17
常 任 委 員 会	21
特 別 委 員 会	26
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
国民体育大会推進特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

10都道府県議会議長会	32
-------------	----

資 料

第4回定例会において議決を経た 条例の公布調	33
昭和61年提出案件の処理状況	34
昭和61年請願及び陳情の処理状況	34
昭和61年議員提出案件の件名及び 処理結果一覧	35
昭和61年請願・陳情の件名及び処 理経過一覧	37
第38回衆議院議員総選挙結果	42
第14回参議院議員通常選挙結果	56

11・12月のメモ

議 会 日 誌

▶11月

5日(水) 各常任委員会

26日(水) 文教委員会

▶12月

1日(月) 石炭対策特別委員会

2日(火) 議会運営委員会

8日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、国民体育大会推進特別各委員会

9日(火) (第4回定例会開会)

議会運営、総務各委員会

本会議(会期決定<12日間>、提案説明、意見案1件可決、休会の決定<2日間>)

12日(金) 議会運営委員会

本会議(代表質問<2人>)

13日(土) 議会運営委員会

本会議(日程延期)

15日(月) 議会運営委員会

本会議(代表質問<2人>)

16日(火) 議会運営、総務、石炭対策特別各委員会

本会議(追加提案説明、一般質問<3人>)

17日(水) 議会運営委員会

本会議(一般質問<3人>)

18日(木) 議会運営委員会

本会議(一般質問<2人>、予算・決算特別委員会設置、意見案1件可決、休会の決定<1日間>)

予算特別委員会(正副委員長の互選、第1・第2分科会設置)

予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選)

決算特別委員会(正副委員長の互選)

19日(金) 予算第1・第2各分科会(各部所管審査)

20日(土) 議会運営、各常任、エネルギー問

題調査特別、予算特別(意見調整)、決算特別各委員会

本会議(各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、収用委員会委員及び公害審査会委員の選任同意、意見案1件可決)

(第4回定例会閉会)

第4回定例会

中小企業金融対策等総額 549 億 4,400 万円余 の補正予算可決

概 要

- ① 中小企業金融対策等に関する補正予算などを審議する第4回定例会は、12月9日招集され、会期を12月20日までの12日間と決定の後、総額 336 億 7,500 万円余の昭和61年度補正予算等の議案が上程され、知事から提案説明の後、「地方財政の健全化の確立に関する要望意見案」を原案可決。議案調査のため12月10、11日の両日休会した。
- ② 休会明けの12月12日、代表質問に入り、久田恭弘議員（自民）からの新計画の見直しにかかわるエネルギー対策等の再々質問に対する知事答弁準備のため、審議が中断。15日に至って、代表質問を継続し、知事から答弁を行い審議が再開され、同日、代表質問を終結。翌16日、道職員等の給与改定等に係る総額 212 億 6,900 万円余の補正予算などの議案が追加提案され、知事から説明の後、一般質問に入り、18日には一般質問を終結。同日、直ちに予算及び決算両特別委員会を設置のうえ、議案を各委員会に付託の後、「石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見案」を原案可決し、各委員会付託議案審査のため、12月19日は休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月18日、正副委員長の互選を行い、2分科を設置のうえ、19日から補正予算等に対する各部審査に入り、同日、これを終え、20日に各分科委員長の報告の後、意見調整の結果、議案第1号ないし第5号及び第16号ないし第22号（昭和61年度補正予算等）は附帯意見を付し原案可決、その他の議案は、いずれも原案可決と決定した。
- ④ 会期最終日の12月20日は、昭和61年度補正予算等に対する予算特別委員長及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。次に、北海道収用委員会委員及び北海道公害審査会委員の選任同意案件が追加提案され、知事から説明の後、原案のとおり同意議決。次に、「義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見案」を原案可決の後、報告第2号（昭和60年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議した案件は、報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来12日目の12月20日午後1時41分閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				計
		原案可決	同意議決	報告のみ	継続審査	
知 事	32	24	2	5	1	32
議 員	3	3	—	—	—	3
計	35	27	2	5	1	35

本 会 議

○12月9日（火） 午後2時16分開議、吉田政一議長、昭和61年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題として今期定例会の会期を、本日から12月20日までの12日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第15号及び報告第2号を議題とし、知事から、提出議案に関し説明。次いで、

日程第4 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり決定して、議案調査のため、12月10、11日の両日を休会とすることに決定して、午後2時25分散会。

○12月12日（金） 午前10時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第2号を議題とし、代表質問に入り、



谷川 英雅議員(社会)から、① 道政上の当面の課題に関し、第8次石炭政策の答申に対する認識、閉山防止対策、石炭鉱業の安定対策、産炭地域の振興対策、石炭対策を所掌する行政組織の強化、北海道旅客鉄道株式会社に対する国の助成策の充実、輸送の安全確保とサービス水準の維持、天北線など長大4線の存続、青函連絡船の有効活用を検討と国などへの存続の働きかけ、国鉄の技術集積の活用、水田農業確立対策の取り組み、転作面積の地域配分の基本的な考え方とその時期、総合的な雇用対策の推進、雇用創出に関する機構の新設

② 財政問題に関し、補助金カットによる道財政の影響、国の補助率カットをめぐる情勢把握と今後の対処、本年度道財政の収支見通しと基金の見通し、明年度当初予算編成に当た

っての知事の決意、財政硬直化に対する対応、当面する緊急課題に対す対応

③ 福祉問題に関し、21世紀に向けての福祉社会の姿、新しい社会福祉長期計画の取り扱い、ケア付住宅モデル事業の今後の進め方、ケア付住宅の今後の整備

④ 職業能力開発問題に関し、職業能力開発の推進、民間における職業能力開発の促進、道立職業訓練校における職業能力開発の進め方についての考え

⑤ 釧路湿原の国立公園化に関し、釧路湿原の国立公園指定の見通し、自然環境の保護対策、国の鳥獣保護区域の拡大

⑥ 教育問題に関し、今後における大学等の設置並びに誘致についての対処、各圏域ごとの高等教育機関の整備の展望と今後の方針、市町村における生涯教育の推進、高等学校機能の地域への開放と今後の方策

⑦ 公安問題に関し、ゲーム機賭博事犯の取り締り、悪徳商法の取締り、国の第4次交通安全基本計画に基づく交通事故死者抑止目標等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により、午前11時55分休憩、午後1時23分再開し、代表質問を継続、



久田 恭弘議員(自民)から、① 知事の政治姿勢に関し、昭和62年度北海道開発予算折衝に臨む基本姿勢、予算確保に

伴う地方負担の大幅増に対する考え、北洋漁業及び石炭関係地域対策についての姿勢、新計画の基準年次、計画内容の見直し、原子力発電の新規立地の必要性などエネルギー対策の所見、人口想定的基本的なとらえ方、職員の不祥事に対する行政管理上の問題点、綱紀粛制に対する措置、道政への信頼回復についての具体的な取り組み

② 62年度予算編成と道財政の問題点に関し、62年度当初予算編成の方針、道財政の構造認識と財政健全化対策、国直轄事業負担金の一部未計上分の措置、道職員の給与改定を完全実施する理由、給与改定に対する道民への配慮、給与改定と直轄事業負担金の財源

③ 中小企業対策に関し、道信用保証協会の信用保証の実態把握と今後の対処方針、特定地域中小企業対策臨時措置法に基づく特定地域に対する諸対策、同法に基づく特定地域以外の不況地域対策

④ 道政上の諸課題に関し、第8次石炭政策の答申に基づく新政策による道内炭鉱への影響と今後の取り組み、石炭企業側との緊密な連携による適期適切な対策、産炭地域対策、産炭地サミットの開催趣旨、意見の内容、産炭地域振興への反映、水田農業確立対策の取り組み、稲作のコスト低減方策、北洋関連漁協の調査検討結果と今後の取り組み、マグロの出荷形態についての認識、水産物流通の改善や付加価値の向上についての取り組み、福祉計画の役割、計画策定の遅れについての受けとめ、新しい保健医療計画及び医療法改正による医療計画策定の取り組み、道立病院経営健全化計画との整合性、特別な事情による離職者に対する緊急対策、産業別求人の実態、求人開拓などによる離職者の再就職、労働力の産業間・地域間の移動、新規卒者の就職対策、国鉄改革関連法の成立に対する所見、長大4線の存続についての対処、国鉄遊休地の処分対象用地の対応

⑤ 教育問題に関し、初任者研修の重要性和と文部省が考えている試行内容、明年度の試行実施についての文部省への働きかけ

⑥ 公安問題に関し、金融機関等を対象とする強盗事件及びひったくり事犯の防止対策、歳末における暴力団の取り締まり方針、訪問販売等経済事犯の未然防止対策、風俗営業に関する取り締まり、繁華街等の違法駐車対策、少年非行防止対策、交通事故防止の取り組み等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁の後、議事進行の都合により、午後3時5分休憩、午後3時23分再開し、同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問があり、答弁準備のため午後4時7分休憩、午後4時8分再開したが議事の都合により、直ちに延会。

○12月13日（土） 午後零時22分開議、諸般の報告の後、本日の会議は議事の都合により日程を

延期し延会することに決定して、午後零時23分延会。

○12月15日（月） 午後2時27分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第2号を議題とし、代表質問を継続、横路知事から、去る12月12日の久田恭弘議員（自民）の再々質問に対する答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言。次に、



高橋 鉦議員（公明）

から、① 知事の政治姿勢に関し、これまでの道政への取り組み成果、知事選への再出馬表明、

核兵器廃絶平和北海道宣言、教育論議の具体的な取り組み、北海道観光振興公社（仮称）設立の調査検討の見通し、バイオテクノロジーの育成振興、総合的なバイオテクノロジー研究機関の積極的な誘致についての取り組み

② 財政問題に関し、これまでの財政運営に対する認識、国と地方との財政秩序を損わないための道の対応、財政の硬直化とその対応策、道財政の健全化へ向けての取り組みと中長期的な財政計画策定の考え

③ 新計画に関し、新計画案の手直しについての取り組み、国際エアカーゴ基地構想推進のための庁内体制の整備、各種団体との協力関係の推進、市町村並びに地域住民とのコンセンサス、新千歳空港開港の見通し

④ 石炭問題に関し、第8次石炭政策の答申に対する今後の取り組み、炭鉱離職者対策、産炭地振興策と地元に対する支援

⑤ 農業問題に関し、農政審議会からの「21世紀へ向けての農政の基本方向」の報告書に対する評価、本道稲作の発展の可能性

⑥ 教育問題に関し、公立高校生の中途退学の実態とその理由、教育庁の対処方針及びこの問題に関連した中学校における進路指導の充実、児童生徒の健康と体力の現状、学校における体育活動の充実方策、道立高校の体育施設の整備、体育館の暖房施設の整備

⑦ 交通安全対策に関し、交通安全運動のこれ

までの推進状況と今後の交通安全運動の進め方、年末年始の交通事故防止対策の具体的な取り組み、交通事故防止対策の今後の取り組み等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって知事から答弁の後、次いで、



伊達 忠一議員(道政)から、① 北海道の現状と政策課題に関し、知事選出馬表明での「本道の産業構造や経済構造の

古い体質が一層その矛盾を大きくしている」との発言の趣旨、4年前と比べての経済自立化の改善についての考え、「静かなる改革」に関しての「よいものは大いに伸ばす」、「改革すべきものは大胆に改革する」の発言趣旨、地方交付税の配分に関する記事についての知事発言の真偽「北海道知事選挙の出馬表明にあたって」と題する文書中の「多くの道民が高レベル核廃棄物施設誘致に反対しているのも云々」についての根拠

② 第8次石炭政策に関し、答申に対する対処方針、本道のヤマの現状、閉山の見通し、今後の産炭地振興対策とその財源対策、産業構造調整基金についての受けとめ方とその見通し、じん肺患者の救済対策

③ 計画問題に関し国土審議会計画部会の4全総の経過報告に対する道の意見反映と評価、地域開発プロジェクト育成の考え、北海道開発予算の現状に対する認識と今後の方向性、道央新産業都市計画における工業出荷高の積算根拠、道央地域の基幹産業の現状とその見通し

④ 教育問題に関し、職場離脱の理由で懲戒処分されたいわゆる「厚岸事件」(処分取り消し行政訴訟)の判決についての受けとめと慣行についての考え方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時52分延会。

○12月16日(火) 午前11時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第16号ないし第24号を議題とし、知事から提案説明の後、

日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第15号及び報告第2号を一括議題とし、一般質問に入り、

酒井 芳秀議員(自民)から、

① 農業行政に関し、農業・農政批判についての見解と対処、我が国の食糧自給の状況についての認識、食糧自給のあり方についての考え、本道農業の現状認識、食糧基地北海道としての取り組みと国へのPRの状況、低コスト・高品質の農産物提供など本道農業の将来方向についての展望、バイオテクノロジー研究センターの役割と設立に向けての取り組み、同研究センターと農業試験場とのかかわり、植物遺伝資源センターにおける遺伝資源の収集計画と実績、国のジーンバンクとの関連

② 林業行政に関し、林業経営体質強化緊急対策事業に対する今後の取り組み、同事業の基金設置団体は資金貸し付けの対象外とする方向で国が検討している状況とそれに対する対処策等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午前11時55分休憩、午後2時21分再開。

大島 一郎議員(社会)から、

① 農業問題に関し、新規就農対策としてのリース農場事業の実績と成果、今後の同事業の進め方、新規就農者の金融対策、食品加工に対する研究体制の検討経過と今後の対応、加工向け農産物の供給体制、野菜の種苗供給体制整備に対する所見、野菜の貯蔵技術としての氷室・氷温貯蔵の実用化に取り組む考え

② 交通事故防止対策に関し、冬型死亡事故の現状と対策、高校生に対する指導方針、標識標示の視認性を高めるための改善策、交通事故防止効果の高いチャッターバー増設計画等について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。

岩瀬 正人議員(自民)から、

○ 市町村財政の諸課題に関し、市町村財政の悪化の原因、地方交付税の持つ調整機能、国への働きかけの状況と財政上の措置状況及びその効果、市町村の行財政健全化のための指導内容とその効果、道内市町村のラスパイレス指数の状況とそれに対する所見、退職手当

の是正状況と財政に与える影響及び道の指導方針、権限移譲に伴う財政措置の算定方法、ヒグマ駆除の権限を市町村に移譲し事務経費を財源措置する考え、土地開発公社の経営状況、公社に対する指導方法等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後3時24分延会。

○12月17日（水） 午前11時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第2号を議題とし、一般質問を継続、

大野 忠義議員（自民）から、

① 新計画の見直し問題に関し、開発庁の長期ビジョンとの整合性、地域生活圏構想における経済指標見直しに対する見解、各地域生活経済圏計画の見直しに臨む基本姿勢、地域生活経済圏ごとの経済成長率算定への所見

② 教育問題に関し、PTAの持つ役割とその活動のあり方、現在のPTA活動への評価、PTA活動育成への教育委員会の果すべき役割と予算措置や指導体制の状況、PTA育成への理念等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から、再質問、知事及び教育長から答弁の後、午前11時35分休憩、午後2時8分再開。

今津 寛議員（自民）から、

① 冬季オリンピックの招致問題に関し、旭川冬季オリンピックの招致運動に対する認識、オリンピック招致が本道に与える効果、旭川市が立候補届け出した場合の道の対応

② スキー競技の振興に関し、本道の冬季スポーツの実態と振興に向けての道教委としての取り組み、小・中・高等学校におけるスキー学習の実施状況、スキー指導者養成のための方策

③ 世界スキー指導者会議に関し、旭川に会議開催が決定された場合の道としての支援・協力等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、教育長から答弁。次に、

工藤 啓二議員（公明）から、

① 国鉄改革にかかわる諸問題に関し、新会社の経営方針が道民生活に与える影響と道とし

ての対応、新会社の職員採用に当たっての所見、国鉄余剰人員の再就職の見通し、国の出先機関における採用計画、北海道新幹線の早期着工への見解と今後の取り組み

② 国民体育大会に関し、施設の整備状況、市町村事業への助成状況、開閉式会場等の面積が狭あいな状況と解消策、道民運動の今後の推進方法、「はまなす国体」に向けての基本的姿勢、開催県優勝にかかる見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁の後、午後3時16分延会。

○12月18日（木） 午前10時58分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第2号を議題とし、一般質問を継続、

石川 十四夫議員（道政）から、

① 第8次石炭政策に関し、答申に対する受けとめ、石炭対策室の設置時期、石炭需給調整機関設置についての受けとめと見通し、雇用創出対策の進め方、雇用対策新法での措置内容、今回の石炭政策による炭鉱離職者数、炭鉱離職者対策の推進方法、産炭地域振興の方向、産炭地域自治体への財政援助、産炭地域振興対策予算についての考え、産炭地サミットの成果、今後の同サミット開催への見解、ふるさと訪問で夕張を日程に入れなかった理由

② 交通安全問題に関し、他市町村から札幌市内に乗り入れる自動車の状況、安全性などを加味したスパイクタイヤの今後の対応等について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。次いで、

大橋 晃議員（共産）から、

① 石炭問題に関し、北電の道内炭使用についての要請の考え、海外炭使用へ切りかえた場合の環境影響評価の再評価と公害防止協定の改定

② 水田農業確立対策に関し、転作推進に当たって助成補助金の上乗せなど緊急対策の必要性

③ 石狩湾新港に関し、港湾計画の改定案への見解、目標取扱貨物量達成した場合の小樽港や留萌港との競合問題、石狩湾新港地域開発推進への見解

④ 教育問題に関し、63年度の高校生急増にかかわる収容対策、ダイヤ改正による列車通学への影響と対処の状況、今後の対処策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があり、知事から答弁があつて、質疑並びに質問を終結。

関根 建二議員（社会）から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第5号及び第16号ないし第22号は予算特別委員会に、報告第2号は決算特別委員会に、それぞれ付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があつて動議成立、これを諮って異議なく決定。動議に係わる案件を両特別委員会に付託の上、次の委員を議長指名による選任。

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。次に、

日程第2 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

各委員会付託議案審査のため、12月19日は休会することに決定して、午後零時18分散会。

○予算特別委員（31人）

遠藤 常二（社会）	伊達 忠一（道政）
今津 寛（自民）	岩瀬 正人（自民）
大野 新生（自民）	小野寺 勇（自民）
神戸 典臣（自民）	操上 良宏（自民）
畠山 博（自民）	大島 一郎（社会）
高橋 庸（社会）	谷川 英雅（社会）
極林 巖（社会）	綿貫 健輔（自民）
小田部善治（自民）	中川 隆之（自民）
中川 義雄（自民）	久田 恭弘（自民）
山口 真人（自民）	吉川 貴盛（自民）
岩田 徳弥（自民）	佐々木利昭（自民）

高木 繁光（自民）	石川十四夫（道政）
柳谷 正一（公明）	萩上 元春（社会）
吉野 之雄（社会）	舟山 広治（社会）
笠島 保（社会）	高橋 鉦（公明）
中崎 昭一（自民）	

○決算特別委員（17人）

大内 良一（社会）	小野寺 勇（自民）
酒井 芳秀（自民）	平井 進（自民）
村田 雄平（自民）	柏倉 勝雄（社会）
高橋 庸（社会）	神本 三也（社会）
高田 忠雄（道政）	湯佐 利夫（自民）
青山 章（自民）	木本 由孝（自民）
佐々木行雄（自民）	土屋 良三（自民）
中川 義雄（自民）	水岡 薫（自民）
川口 常人（自民）	石川十四夫（道政）
柳谷 正一（公明）	関根 建二（社会）
池島 信吉（社会）	中田 繁夫（社会）
湯本 芳志（社会）	高橋 鉦（公明）
平野 明彦（自民）	作田 政次（自民）
佐々木 豊（自民）	

○12月20日（土） 午後1時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号を議題とし、

極林巖予算特別委員長（社会）から、議案第1号ないし第5号及び第16号ないし第22号について、

高木繁光総務委員長（自民）から、議案第6号、第15号及び第24号について、

渋谷澄夫厚生委員長（社会）から、議案第7号及び第9号について、

佐々木利昭文教委員長（自民）から、議案第8号、第12号ないし第14号及び第23号について、

伊藤弘建設委員長（自民）から、議案第10号及び第11号について、

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第1号及び第9号に対する反対討論があつて討論終結。

次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号及び第9号を問題とし、起立採決の結

果、起立多数（共産反対）をもっていずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第8号及び第10号ないし第24号を問題とし、異議なく、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

日程第2 議案第25号及び第26号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり同意議決。

日程第3 意見案第3号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案可決。

次に、決算特別委員長から、申し出のとおり、報告第2号について閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びにエネルギー問題調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付託された案件は、報告第2号を除き、すべて議了。

吉田議長から、閉会に当たってあいさつがあり、午後1時41分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る12月18日設置され、昭和61年度各会計補正予算8件及びこれに関連する議案4件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査につきましては、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に大島一郎君、副委員長に島山博君、第2分科会は、委員長に今津寛君、副委員長に谷川英雅君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、12月19日、各部所管の審査に入り、同日、各分科会の一切の質疑を終了し、本日の委員会にお

いて、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、中小企業金融対策及び特定地域中小企業対策臨時措置法の制定に伴う特別融資に要する経費のほか、道職員等の給与改定等について所要の措置を講じようとするものであり、その総額は549億4千400万円余の補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも意見の一致を見、先刻の委員会におきまして、議案第1号ないし第5号及び議案第16号ないし第22号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、本委員会における審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

本道が当面する経済環境はまことに厳しいものがある。

道は、一層の景気浮揚に努めるとともに、目下の急務である雇用対策において、求人の開拓、雇用の創出について具体的施策を強力に推進すべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 9	1	昭和61年度北海道一般会計補正予算(第7号)	予算特別	12. 20	原案可決
同	2	昭和61年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	昭和61年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	4	昭和61年度北海道病院事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	5	昭和61年度北海道有林野事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	7	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	厚生	同	同
同	8	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教	同	同
同	9	石狩東部広域水道企業団規約の一部改正に関する件	厚生	同	同
同	10	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	建設	同	同
同	11	工事請負契約の締結(北海道立野幌総合運動公園総合体育館新築第3期その2工事)に関する件	同	同	同
同	12	財産の取得(北海道札幌岡高等学校(仮称)用地)に関する件	文教	同	同
同	13	財産の取得(北海道美唄聖華高等学校用地)に関する件	同	同	同
同	14	財産の取得(北海道鶴川高等学校用地)に関する件	同	同	同
同	15	財産の取得(北海道警察釧路方面本部帯広運転免許試験場用地)に関する件	総務	同	同
12. 16	16	昭和61年度北海道一般会計補正予算(第8号)	予算特別	同	同
同	17	昭和61年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	18	昭和61年度北海道病院事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	19	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	20	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	21	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	22	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教	同	同
同	24	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
12. 20	25	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	26	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 9	1	昭和61年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件			報告のみ
同	2	昭和60年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 20	継続審査
同	3	昭和60年度北海道継続費精算報告の件			報告のみ
同	4	昭和60年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	5	昭和60年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	6	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、11月22日2件、11月26日1件、12月2日2件専決処分）			同

第4回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
12. 9	1	地方財政の健全化の確立に関する要望意見書	高木繁光議員ほか13人	12. 9	原案可決	総 務
12. 18	2	石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書	水岡 薫議員ほか14人	12. 18	同	石炭対策 特 別
12. 20	3	義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書	佐々木利昭議員ほか13人	12. 20	同	文 教

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

意見案

意見案第1号

(昭和61年 4 定
高木繁光議員ほか13人提出<総務>
昭和61年12月9日 原案可決)

地方財政の健全化の確立に関する要望意見書

国は、昭和62年度の予算編成に当たり、巨額の借入金を抱える地方財政の健全化を図り、併せて、国と地方との財政秩序を堅持する見地から、特に次の事項について十分な配慮を加えるよう強く要望する。

1. 税制の抜本的見直しに当たっての地方税財源の確保について

国・地方を通ずる税制の抜本的見直しに当たっては、個人所得課税、法人課税の減税に伴う地方税及び地方交付税の減収に対しては、恒久的かつ完全な補てん措置を講ずるほか、地方財政を健全化し、地方の役割の増大等に対応した地方財源を確保するよう適切な措置を講ずること。

2. 公共事業費の国庫補助負担率の引下げ反対について

国においては、公共事業費の国庫補助負担率を更に引き下げようとする動きがあるやに仄聞するが、これは、国会審議における政府答弁及び大蔵・自治両省の覚書きに反するものであり、しかも、窮迫する地方財政の現状を無視して地方公共団体に財政負担を転嫁するものであるので、このような措置は絶対にとるべきではないこと。

3. 国民健康保険制度に対する都道府県負担の導入反対について

国においては、財政難を理由に国民健康保険の国庫負担金等の一部を都道府県に肩代りさせようとする動きがあるやに仄聞するが、本来、国民健康保険制度は、社会保障制度の一環として、国の責任において行われるべきものであり、都道府県の負担制度を導入することは、国の責任を転嫁するもので、容認することはできない。

よって、このような措置は絶対にとるべきではないこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉 田 政 一

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣
自治大臣、総務庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第2号

(昭和61年 4 定
水岡 薫議員ほか14人提出<石炭>
昭和61年12月18日 原案可決)

石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望

意見書

先に、石炭鉱業審議会から出された新石炭政策の答申は、国内炭の生産規模を大幅に縮小し、政策の最終年度に当たる昭和66年度において、1千万トン程度とすることなど、石炭鉱業にとって誠に厳しい内容となっている。

一方、産炭地域にあっては、地域経済の低迷と地方自治体財政の逼迫が続いており、このまま政策が実行されると炭鉱に依存する地域社会は崩壊の危機に直面することになる。

従って、国におかれては、これら石炭鉱業及び産炭地域をめぐる諸情報を踏まえ、昭和62年度の予算編成に当たり、次の事項について、特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 石炭関係財源の確保

石炭関係財源の確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策への重点配分を図ること。

2. 石炭鉱業安定対策

石炭鉱業の安定を図るため、次の措置を講ぜられたい。

(1) 生産規模の明確化

石炭鉱業の安定を図るため、将来にわたる国内炭の生産規模を明確化すること。

(2) 需要の確保

国内炭優先使用の原則に立って基準炭価制度及び海外炭の輸入割当制度を遵守し、需要の確保措置を講ずること。

(3) 助成制度の拡充・強化

現存炭鉱の可能な限りの存続を図るため、現行の関係法令並びに助成制度を拡充すること。

また、炭鉱の規模縮小に伴う減産対策助成制度を創設するなど助成制度の強化を図ること。

(4) 過剰在庫対策

貯炭の増加に伴う経営悪化を防止するため、石炭需給調整機構を設置すること。

また、設置されるまでの間、低利の緊急融資を行うこと。

(5) 炭鉱保安の確保

炭鉱の深部化、奥部化に伴う保安の確保を図るため、助成制度の拡充など保安対策の推進に努めること。

3. 産炭地域振興対策

産炭地域の振興を図るため、次の措置を講ぜられたい。

(1) 地域活性化対策

産炭地域市町村が計画しているプロジェクトなどについて、財政援助、関連基盤の整備などの支援を行うこと。

(2) 企業誘致の促進と地場産業の振興

企業誘致の促進と地場産業の振興を図るため、国公立の試験研究機関などの優先導入、工業用機械などの特別償却など税制上の優遇措置の拡充強化、地域振興整備公団による工業団地の造成、設備・運転資金融資の条件緩和、工場リース事業などの業務拡充などを行うこと。

(3) 産業構造の転換促進

産業構造の多様化を促進するため、産業構造転換円滑化法（仮称）の早期制定による経済構造調整基金の創設とその活用を図ること。

(4) 炭鉱跡地の再開発事業の推進

ア 炭鉱跡地の抵当権の解除などについて調整を行うとともに、地元市町村に対し所要の財政援助措置を講ずること。

イ 地域振興整備公団の業務を拡大し、炭鉱離職者などの雇用の場を確保するため、炭鉱施設など不用施設の除去事業を促進すること。

(5) 生活環境整備の促進

公的サービス施設の維持を図るため、市町村に対する財政援助措置を講ずること。

(6) 下請・中小商工業者の経営安定

下請・中小商工業者の経営安定を図るため、当面の資金援助措置を講ずるとともに、現行資金援助制度の拡充強化を図ること。

(7) 地方公共団体への財政援助

産炭地域振興臨時交付金の拡充、地方交付税による特別な援助を図るとともに、産炭地域振興事業債（仮称）の創設などによる財政援助対策の強化を図ること。

4. 産炭地域雇用対策

産炭地域雇用対策について、次の措置を講ぜられたい。

(1) 離職者対策の充実

炭鉱離職者臨時措置法を延長し、炭鉱離職者求職手帳を下請坑外員にも発給すること、及び就職促進手当の増額を図るなど万全の措置を講ずること。

(2) 再就職対策の促進

炭鉱離職者などの再就職を促進するため、職業能力開発体制の拡充及び再就職先の雇用促進住宅の確保など総合的な措置を講ずること。

(3) 福祉施設の整備

雇用の促進を図るため、雇用促進事業団による労働福祉施設の設置を促進すること。

(4) 特定不況地域の指定

特定不況業種・特定不況地域関係労働者の雇用の安定に関する特別措置法に基づく地域指定を行うこと。

(5) 雇用開発の促進

産炭地域の雇用開発を図るなどの雇用対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉 田 政 一

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣、労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官} 各通

意見案第3号

(昭和61年 4 定
佐々木利昭議員ほか13人提出<文教>
昭和61年12月20日 原案可決)

義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する
要望意見書

義務教育費国庫負担制度については、昭和60年度予算において、教職員の旅費と教材費を適用除外とし、また、昭和61年度予算においては、教職員人件費に含まれる共済年金負担金の一部について、国庫負担率を2分の1から3分の1に引き下げるなど、地方に負担の肩がわりを行ってきた。

さらに、大蔵省は、昭和62年度予算編成に当たって、国の財政負担を軽減するため、「義務教育費国庫負担法」から、学校栄養職員、事務職員の給与費及び共済費等を適用除外にしようとする動きがあるやに仄聞する。

義務教育費の国庫負担は、義務教育無償の原則に則り、国民のすべてに対し、その妥当な規模と内容を保障するため、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上を図ることを目的とするものであり、学校栄養職員及び事務職員の給与等を

国庫負担法から適用除外とすることについては、単に厳しい地方財政に対する負担のしわ寄せのみにとどまらず、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府におかれては、明年度の予算編成において、このような措置をとることのないように強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉 田 政 一

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、自治大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例会において各常任委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
89	釧路市民生活協同組合の供給地域拡大反対の件	根室市商店街連合会 会長 山本 哲弘ほか1人	生環林務	継続審査

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
32	現行の義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件	北海道学校事務労働組合 委員長 直島 峯夫	文 教	継続審査
33	学校事務職員に係わる義務教育費国庫負担制度の継続適用に関する件	全国公立小中学校事務職員研 究会 北海道支部長 安池 順一	同	同

② 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	同
66	「非核北海道宣言」を求める件	同
71	大型間接税の導入をとりやめ、大幅減税等を求める件	同
72	「国家機密法」に反対の件（外31件）	同
84	パチンコ店出店に反対の件	同
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	生環林務
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚 生
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
54	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
60	無認可保育所への助成に関する件	厚 生
74	シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する件	同
80	老人保健法の改悪に反対し、お年寄りが安心して医療をうける権利を保障することを求める件	同
86	北海道看護職員修学資金貸付条例の返還免除条件の改悪をやめ、貸付金額の引き上げ・借受者枠の拡大を求める件	同
88	引揚者の在外財産に対する補償に関する件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	同
45	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同
51	対ソ貿易の振興についての件	同
53	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	同
62	季節労働者対策の充実に関する件	同
76	季節労働者対策の充実に関する件	同
77	円高差益還元、灯油値下げに関する件	同
78	円高差益、原油差益等の差益還元に関する件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農務農開
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	同
82	北海道農業振興対策に関する件	同
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	建 設
63	季節労働者対策の充実に関する件	同
70	道道赤平・奈井江線の歌志内地区街路事業の未着工区間の早期着工を求める件	同
48	水産問題に関する件	水 産
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	同
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文 教
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	同
73	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	同
79	公立高等学校授業料の値上げに反対し、父母負担の軽減を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
85	屋内公認総合水泳プールの建設を求める件	文 教
87	マンモス高校・過大学級の強制と機械的な間口削減に反対し、公立高校の新增設、40人以下学級の実現、私学への大幅な公費助成を求める件	同
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	エネルギー問 題調査特別
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	同
29	地区会館にかかる法人道民税の免除を求める件	同
30	パチンコ店開業に反対の件	同
22	手稲山の自然保全を求める件	生環境務
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	同
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	同
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	同
27	無認可保育所に関する件	同
31	道に学童保育施設の確立を求める件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	1級河川十勝川水系札内川第2札内橋架橋促進に関する件	建 設
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	同
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	文 教
19	非木造校舎（ブロック造）の危険改築制度の創設と銭函小学校の改築に関する件	同
23	公立高校の新設と総合選抜制度の早期実施並びに私立高校生への公費補助を求める件	同
28	幌延の高レベル放射性廃棄物の研究・貯蔵施設の誘致反対に関する件	エネルギー問 題調査特別

委員会の動き

議会運営委員会

○12月2日（火） 午後3時4分、議会運営委員会室において開議、午後3時8分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 第4回定例会の招集期日を12月9日とすることを了承。会期は12日間とすることに決定。

② 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

③ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第4回定例会日程

12月9日	本会議（提案説明）
10日・11日	休会
12日・13日	本会議（代表質問）
14日	休会
15日・16日	本会議（一般質問）
17日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
18日・19日	休会
20日	本会議

④ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順とすることを了承。通告は、12月10日の正午までとすることを決定。

⑤ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、十分比による10番目については、今回は公明となることを了承。通告については、12月13日正午までに提出することを決定。

○12月8日（月） 午後零時12分、議会運営委員会室において開議、午後零時16分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 総務部長から、第4回定例会提出案件について説明。

② 予算及び決算特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料のとおりとすること(2)委員名簿は、12月15日正午まで提出すること(3)委員会設置動議の提出は、社会が行うことを了承。

③ 議案調査のため、12月10日から11日まで休会し、12月12日再開することを決定。

④ 12月9日の本会議の議事順序については、明日の委員会において協議することを了承。

○12月9日（火） 午後2時、議会運営委員会室において開議、午後2時2分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 意見案第1号について、本日の本会議において議決することをはかり決定。

② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告

日程第2 会期決定の件（12月9日から12月20日まで12日間）

日程第3 議案第1号ないし第15号及び報告第2号
提出議案に関する知事の説明

日程第4 意見案第1号
意見案第1号 地方財政の健全化の確立に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

本件を原案のとおり決することに簡易採決

議案調査のための休会日の決定
（12月10日から12月11日まで）

○12月12日（金） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午前9時43分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 代表質問の通告（4人）について報告。本日2人、明日2人行うことを決定。

② 委員長から、北方領土対策特別委員長が中

中央折衝のため、本日から2日間上京することを報告。

- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第2号
質疑並びに一般質問(代表質問2人)

○12月13日(土) 午前9時57分、議会運営委員会室において開議、午前11時56分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 総務部長から、昨日の久田恭弘議員(自民)の再々質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時59分休憩、午前11時53分再開。
- ② 総務部長から、久田議員の再々質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○12月15日(月) 午後1時30分、議会運営委員会室において開議、午後1時34分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 吉田総務部次長から、佐竹副知事が御母堂逝去のため、本日から17日まで本会議を欠席したい旨、また、総務部長並びに開発調整部長が国庫補助負担率の引き下げ問題を含め明年年度予算に関する要請活動のため、本日から17日まで本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ② 吉田総務部次長から、答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、久田議員の再々質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問3人(1人継続)行うことを了承。
- ④ 一般質問の通告(10人)について報告。順位は12月2日の委員会決定のとおり従前の例により取り進めることとし、各派内における

順位等に変更のないことを確認。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、16日6人、17日4人とすることに決定。

- ⑤ 委員長から、総務委員長ほか委員2名が中央折衝のため本日上京することを報告。

- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第2号
質疑並びに一般質問(3人・うち1人継続)

○12月16日(火) 午前10時7分、議会運営委員会室において開議、午前10時11分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 吉田総務部次長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議において知事の提案説明を行うことに決定。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人行うことを了承。
- ③ 委員長から、農務農地開発委員長が本日から2日間、並びに水産委員長が本日、いずれも中央折衝のため上京することを報告。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第16号ないし第24号
追加提出案件に関する知事の説明
日程第1の議案第16号ないし第24号にあわせ
日程第2 議案第1号ないし第15号及び報告第2号
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

○12月17日(水) 午前10時23分、議会運営委員会室において開議、午前10時26分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問5人を行うことを決定。
- ③ 予算及び決算特別委員会の設置並びに議案の各委員会付託については、一般質問の進行状況により、改めて協議することを了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第2号
質疑並びに一般質問（一般質問5人）

○12月18日（木） 午前9時53分、議会運営委員会室において開議、午前9時58分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、公共事業に係る補助率カットの問題に関する要請活動の状況等について発言。
- ② 意見案第2号について、本日の本会議一般質問終了後、議決する扱いとすることを決定。
- ③ 本日の本会議について、一般質問2人を行うことを了承。
- ④ 予算及び決算両特別委員会について、予算特別委員会の各分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。両特別委員会の委員の選任について、各会派から提出された名簿のとおり選任することを了承。設置動議について、関根建二議員（社会）が提出することを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 各委員会付託議案審査のため、12月19日は休会とし、12月20日再開することをはかり決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第2号
質疑並びに一般質問（一般質問2人）

（質疑終結宣告）

- 予算及び決算特別委員会設置
- 予算及び決算特別委員の選任
- 残余の議案の各委員会付託

日程第2 意見案第2号

意見案第2号 石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決
- 各委員会付託議案審査のため休会の決定（12月19日）

○12月20日（土） 午後零時40分、議会運営委員会室において開議、午後零時44分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ② 委員長から、決算特別委員会の審議状況について、審議中の報告第2号（昭和60年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）は、本日の委員会において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。
- ③ 総務部長から、追加提出議案の説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ④ 意見案第3号について、本日の本会議において議決することを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号
予算特別、総務、厚生、文教、建設各委員長の報告

（討論）

1. 大橋議員の議案第1号及び第9号に関する反対討論

○閉会宣告

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第1号及び第9号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決
(共産反対)
2. 議案第2号ないし第8号及び第10号ないし第24号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第25号及び第26号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

{	議案第25号	北海道収用委員会委員
		の選任につき同意を求
		める件
	議案第26号	北海道公害審査会委員
	の選任につき同意を求	
		める件

日程第3 意見案第3号

意見案第3号 義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第2号について申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びにエネルギー問題調査特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○11月5日（水） 午前11時40分、第5委員会室
において開議、午前11時48分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、本日の委員会終了後、引続き総務委員会協議会開催についてはかり、異議なく決定。
- ③ 総務部長から、市町村長への権限移譲に関する説明の後、
藤井猛委員（自民）から、住宅都市部所管事務の優良宅地等の認定に関する具体的事務について
高橋賢一委員（自民）から、衛生部所管の動物飼養等の許可等に関する事務でいう動物の範囲について
質疑があり、総務部長から答弁。

○12月8日（月） 午前11時19分、第5委員会室
において開議、午前11時48分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定の補正予算の主なものについて説明。
- ③ 開発調整部長から、第107国会で可決成立した国鉄改革関連法の主な内容及び北海道のあらましと今後のスケジュールについて説明。
- ④ 委員長から、札幌市内各警察署における歳末取り締り状況の視察及び激励の実施を理事会において決定した旨報告。

○12月9日（月） 午後1時43分、第5委員会室
において開議、午後1時44分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、「地方財政の健全化の確立に関する要望意見案」の発議についてはかり、異議なく決定。

○12月16日（火） 午前9時49分、第5委員会室
において開議、午前9時51分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

一 般 議 事

- 総務部次長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月20日（土） 午前11時43分、第5委員会室
において開議、午前11時50分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第6号（低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第15号（財産の取得に関する件）及び議案第24号（北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例案の一部を改正する条例案）を一括議題とし、警察本部総務部長及び警務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることについてはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和62年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については委員長に一任する

こととした。

生活環境林務委員会

- 11月5日（水） 午後1時12分、第3委員会室
において開議、午後1時16分
散会
委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- 生活環境部長から、釧路湿原の国立公園化
について説明。

- 12月8日（月） 午前10時21分、第3委員会室
において開議、午前10時25分
散会
委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- 生活環境部長及び林務部長から、第4回定
例会提出予定案件について説明。

- 12月20日（土） 午前11時36分、第3委員会室
において開議、午前11時36分
散会
委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、
今後付託されるものを含め、閉会中継続審査
の申し出をすること、及び所管事務につい
て、閉会中継続調査の申し出をすることを
はかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和62年度開発関係予算に関
する中央折衝の実施については、異議な
く決定。実施時期等については、委員長に
一任することとした。

厚生委員会

- 11月5日（水） 午後1時34分、第9委員会室
において開議、午後2時13分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- 民生部長から、「北海道ウタリ生活実態調
査」の結果について報告書により報告の後、
宇野眞平委員（自民）から、呼称をアイヌ
と統一することの可否について

大橋晃委員（共産）から、ウタリ問題に関
し、実態調査項目に差別についての項目を加
えた理由とその結果、「我が国には国際人権
規約第27条でいう少数民族はいない」との政
府見解に対する認識、国に新法制定を要求す
ることについての見解、ウタリ問題懇話会の
今後の審議見通し、審議を促進するためウタ
リ側委員を増員することの適否、懇話会を公
開することの可否等について

質疑、意見及び要望があり民生部長から答
弁。

- 12月8日（月） 午前10時25分、第9委員会室
において開議、午前10時37分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会
提出予定案件について説明。

- 12月20日（土） 午前11時46分、第9委員会室
において開議、午前11時57分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

付託議案の審査

- ① 議案第7号（北海道立看護学院条例の一部
を改正する条例案）を議題とし、衛生部長か
ら説明の後、異議なく原案のとおり可決する
ことに決定。
- ② 議案第9号（石狩東部広域水道企業団規約
の一部改正に関する件）を議題とし、衛生部
長から説明の後、

大橋晃委員（共産）から、改正の理由、専
任の企業長を廃止することによる影響等につ
いて

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁が
あって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手
多数（共産反対）をもって原案のとおり可決
することに決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和62年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

商 工 労 働 委 員 会

○11月15日（水） 午前10時47分、第8委員会室
において開議、午前11時散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 労働部長から、「高年令者等の雇用の安定等に関する法律」の概要について説明。
- ② 伊藤豪委員（自民）から、森林・河川緊急整備税の創設に対する商工観光部の基本的な考え方と対処方針について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○12月8日（月） 午前10時41分、第8委員会室
において開議、午前10時53分
散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長及び労働部長から、それぞれ第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工観光部長から、特定地域中小企業対策臨時措置法の概要について説明。
- ③ 商工観光部長から、石狩湾新港地域の開発に係る環境影響評価について説明。
- ④ 労働部長から、雇用保険法に基づく緊急雇用安定地域の指定について説明。

○12月20日（土） 午前11時47分、第8委員会室
において開議、午後零時散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ③ 商工観光部長から、北海道地場工業等振興条例に基づく助成制度に関し、助成条件等の改訂及び助成制度の運用状況について報告の後、高橋一史委員（自民）から、助成制度のより一層の充実強化及び実施機関の執行体制の強化について、意見及び要望があった。
- ④ 企業局長から、滝下発電所建設計画に関し、国の電源開発基本計画組み入れ決定を報告の後、石川十四夫委員（道政）から、62年度着工方について、意見及び要望があった。
- ⑤ 委員長から、昭和62年度北海道開発関係予算要望のため、中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

農 務 農 地 開 発 委 員 会

○11月5日（水） 午後1時8分、第7委員会室
において開議、午後2時20分
散会
委員長 中川 義雄（自民）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、昭和61年度道営工事発注実績に関して報告。
- ② 大平秀雄委員（自民）から、水田利用再編次期対策に関し、市街化区域及び兼業農家に対する実態と取り扱いに対する考え方、土地改良事業関係制度資金の金利問題に対する対応と考え方について
（関連して、寺崎政朝委員（自民）から、金利問題に対する道の対応の重要性について）
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び農地開発部長から答弁。
委員長から、金利問題については北海道全体として取り組んでほしい旨要望した。

- ③ 神本三也委員（社会）から、畑作農家の減収の影響に対する認識と指導の取り組み方、農家に対する制度資金等の金利引き下げの決意と農業経営総合調査の取り組み方について質疑があり、農務部長から答弁。
- ④ 神本三也委員（社会）から、今後の農地価格のあり方について
質疑があり、議事の都合により次回の委員会で両部長から答弁することとした。

○12月8日（月） 午前10時19分、第7委員会室
において開議、午前10時51分
散会
委員長 中川 義雄（自民）

一 般 議 事

- ① 農務部長及び農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した水田利用再編次期対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 農務部長から、今年の道営競馬に関する状況を報告の後、
山口真人委員（自民）から、道営競馬の収支状況等について
質疑があり、農務部長から答弁。
- ④ 農務部長から、水田農業確立対策等について報告の後、
大平秀雄委員（自民）から、水田農業確立助成補助金の概要
鈴木誠二委員（社会）から、転作割当面積配分のスケジュールについて
質疑があり、農務部長から答弁。
- ⑤ 農地開発部長及び農務部長から、前回の委員会における神本三也委員（社会）からの質疑に対して答弁。

○12月20日（土） 午前11時40分、第7委員会室
において開議、午前11時43分
散会
委員長 中川 義雄（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和62年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

建 設 委 員 会

○11月5日（水） 午後1時23分、第4委員会室
において開議、午後1時29分
散会
委員長 伊藤 弘（自民）

一 般 議 事

- 土木部長から、昭和61年度除雪計画に関する件について説明。

○12月8日（月） 午前10時40分、第4委員会室
において開議、午前10時52分
散会
委員長 伊藤 弘（自民）

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 土木部長から、石狩湾新港港湾計画の改訂素案について報告。

○12月20日（土） 午前11時43分、第4委員会室
において開議、午前11時49分
散会
委員長 伊藤 弘（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第11号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和62年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

○11月5日（水） 午後1時27分、第6委員会室
において開議、午後1時36分
散会
委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、韓国漁船問題に関する日韓政府間協議の結果について報告。
- ② 副委員長から、さきに実施した韓国漁船200海里問題に関する中央折衝の概要について報告、異議なく了承。

○12月8日（月） 午前11時42分、第6委員会室
において開議、午後零時1分
散会
委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、日ソ漁業交渉の結果及び韓国漁船問題の経過について説明の後、
吉野之雄委員（社会）から、ソ連水域で有償・無償の場合の出漁船区分について
松浦義信委員（自民）から、三角水域を含めた沿岸漁船の操業状況について
質疑があり、水産部長から答弁。
- ③ 水産部長から、昭和61年秋さけ漁業の漁獲実績について報告。
- ④ 水産部長から、特定地域中小企業対策臨時措置法の概要について説明。
- ⑤ 委員長から、札幌中央市場の視察実施につ

いては、異議なく決定。

○12月20日（土） 午前11時46分、第6委員会室
において開議、午前11時53分
散会
委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和62年度水産関係国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、さきに実施した洋上買魚及び沿整事業に関する中央折衝の概要について報告、異議なく了承。

文 教 委 員 会

○11月5日（水） 午後1時26分、第10委員会室
において開議、午後1時30分
散会、委員長事故のため、
副委員長 一野坪 勉（社会）

一 般 議 事

- ① 副委員長から、さきに実施した道外における文教事情調査の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長から、石狩第1学区新設高等学校の繰上げ開校について報告。

○11月26日（水） 午後1時10分、第10委員会室
において開議、午後1時20分
散会
委員長 佐々木 利昭（自民）

一 般 議 事

- 教育長から、昭和62年度公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画について説明。

○12月8日（月） 午前10時35分、第10委員会室

において開議、午前10時39分
散会
委員長 佐々木 利昭(自民)

一 般 議 事

- 教育長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月20日(土) 午前11時50分、第10委員会室
において開議、午前11時56分
散会
委員長 佐々木 利昭(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第8号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第12号ないし第14号(いずれも財産の取得に関する件)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第23号(北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、義務教育費国庫負担法の一部適用除外に関する要望意見案を提出することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和62年度国費関係予算の中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○12月8日(月) 午後1時48分、第1委員会室
において開議、午後2時15分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

- ① 開発調整部長から、北海道新長期計画の今後の取り扱いに関し説明の後、

中川義雄委員(自民)から、道意見案を提出する時期及び道開発庁との調整、新長期計画案の基本的考え方、従前の考え方で作業を進める事の妥当性等

平井進委員(自民)から、北海道総合開発委員会の臨時委員

木本由孝委員(自民)から、プロジェクトを策定する際の関係省庁と事前打合せの有無等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

- ② 開発調整部長から、道央地区新産業都市基本計画に関し報告の後、

中川義雄委員(自民)から、室蘭テクノセンターについて

質疑があり、開発調整部長から答弁。

- ③ 委員長から、さきに実施した他県における開発調査の概要について報告書により報告。異議なく了承。

石炭対策特別委員会

○12月1日(月) 午前11時45分、第11委員会室
において開議、午前11時57分
散会
委員長 水岡 薫(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した「炭鉱と地域を守る緊急全道一万人大会」参加及び新石炭政策に関する中央折衝の概要を報告書により報告、異議なく了承。

- ② 商工観光部長から、第8次石炭政策に関す

る答申の概要について説明。

- ③ 労働部長から、第8次石炭政策に関する雇用対策について説明。

○12月8日（月） 午後1時30分、第11委員会室
において開議、午後2時6分
散会

委員長 水岡 薫（自民）

- ① 石炭政策にかかわる質疑に入り、

宇川源吉委員（自民）から、過剰在庫炭による各炭鉱の経営悪化を防止するため、石炭需給調整機構が設置されるまでの間緊急融資を行うことに対する道の取り組みなどについて

一野坪勉委員（社会）から、第8次石炭政策の答申に対する道の基本的な認識と対処方針、政策期間中の炭鉱ごとの生産規模の推移見通しに対する道の考え方、炭鉱等の今後の動向に対する道の考え方、一般炭の電力会社への引取り要請に対する道の考え方、産炭地域振興対策として市町村が行うビジョン作りや人材養成事業に対する国や道の支援などについて

伊達忠一委員（道政）から、炭鉱合理化により閉山交付金の対象外となる下請企業の救済措置に対する道の考え方、炭鉱下請企業の従業員の救済措置対策などについて
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

- ② 委員長から、本日開かれる北海道石炭対策連絡会議の代表者会議に正副委員長が出席することををはかり、異議なく了承。
- ③ 委員長から、国の予算編成に際し、産炭地域6団体連絡協議会及び北海道石炭対策連絡会議による中央折衝への参加をはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○12月16日（火） 午後零時5分、第11委員会室
において開議、午後零時7分
散会

委員長 水岡 薫（自民）

- ① 委員長から「石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見案」について、配付の文

案により発議することををはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○12月8日（月） 午後1時33分、第3委員会室
において開議、午後1時41分
散会

委員長 木本 由孝（自民）

- ① 領対本部長から、さきに実施した昭和61年度北方領土返還促進使節団の海外派遣に関し報告。
- ② 委員長から、さきに開催された北方領土返還要求のつどいへの参加及び中央要請等の実施結果について報告書により報告、異議なく了承。

エネルギー問題調査特別委員会

○12月20日（土） 午後零時12分、第11委員会室
において開議、午後零時13分
散会

委員長 川口 常人（自民）

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

国民体育大会推進特別委員会

○12月8日（月） 午後1時34分、第2委員会室
において開議、午後1時59分
散会、委員長事故のため、

副委員長 吉野 之雄（社会）

- ① 社会教育部長から、競技力向上推進本部事業について説明。
- ② 石川十四夫委員（道政）から、(1)昭和64年国民体育大会のための施設整備に関し、全道

の競技施設の整備現況、今年度整備予定施設の完成予定及び高校総体関連施設の整備状況、63年度及び64年度の整備予定施設、開催年直近に整備することによる支障の有無、国体開催前後における施設の活用と関係市町村に対する指導等について(2)競技関係に関し、開催県優勝確保の見通し、第41回大会における山梨県の高得点優勝の勝因、開催県有利の根拠及び本道の場合の適否、選手確保に対する「はまなす国体」に向けての基本姿勢、選手確保に対する教員採用についての考え、選手強化のため企業の協力を得る考え、明年度以降の選手強化策、国体の本旨を実現するための考え、大会事務局組織強化の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、国民体育大会事務局長及び社会教育部長から答弁。

予算特別委員会

○12月18日(木) 午後零時22分、第1委員会室
において開議、午後零時33分
散会

委員長 檜林 巖(社会)

正副委員長の互選

- ① 岩瀬正人臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、今津寛委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって檜林巖委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、大島一郎委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって綿貫健輔委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時28分休憩、午後零時29分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は、総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は、商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員(15人)

伊達 忠一(道政)	岩瀬 正人(自民)
神戸 典臣(自民)	操上 良宏(自民)
畠山 博(自民)	大島 一郎(社会)
高橋 庸(社会)	小田部善治(自民)
中川 義雄(自民)	山口 真人(自民)
佐々木利昭(自民)	柳谷 正一(公明)
萩上 元春(社会)	笠島 保(社会)
中崎 昭一(自民)	

○第2分科委員（15人）

遠藤 常二（社会）	今津 寛（自民）
大野 新生（自民）	小野寺 勇（自民）
谷川 英雅（社会）	綿貫 健輔（自民）
中川 隆之（自民）	久田 恭弘（自民）
吉川 貴盛（自民）	岩田 徳弥（自民）
高木 繁光（自民）	石川十四夫（道政）
吉野 之雄（社会）	舟山 広治（社会）
高橋 勉（公明）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の申し出について、その都度委員会にはかり決定することとした。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本会員の運営について、正副委員長及び各分科会正副委員長をもつて構成する理事会を設置しその協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○12月18日（木） 午後零時35分、第1委員会室
において開議、午後零時43分
散会
第1分科委員長
大島 一郎（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に大島一郎委員（社会）、分科副委員長に畠山博委員（自民）をそれぞれ選出。

- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、岩瀬正人委員（自民）、高橋庸委員（社会）、伊達忠一委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月19日（金） 午前11時41分、第1委員会室
において開議、午後零時20分
閉会
第1分科委員長
大島 一郎（社会）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

行政改革に関し、行政改革についての基本的認識、道の簡素効率化調査会や組織機構検討委員会の性格、位置づけについての部長の受けとめ方、国の地方行革大綱による指導内容と道の推進方法の異なる点についての見解、道の行政改革大綱の性格と位置づけ、簡素効率化調査会への諮問項目及び審議経過、調査会の報告に基づく具体的実施内容、出先機関について具体的に指適を受けているものに対する認識と取り組み、出先機関見直しの方向性、行政改革大綱の中での職員給与制度のあり方についての認識と改革の方法、行革に取り組む決意等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、公安委員会、開発調整部、民生部、衛生部、生活環境部、企業局、各種委員会及び総務部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

第2分科会

○12月18日（木） 午後零時36分、第2委員会室

において開議、午後零時45分
散会
第2分科委員長
今津 寛（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に今津寛委員（自民）、分科副委員長に谷川英雅委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、大野新生委員（自民）、遠藤常二委員（社会）、石川十四夫委員（道政）及び高橋敏委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配布の議席表のとおりとすることに決定。

○12月19日（金） 午前10時14分、第2委員会室
において開議、午後4時46分
閉会
第2分科委員長
今津 寛（自民）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

石狩湾新港の港湾計画改訂に関し、改訂案の概要、取扱貨物量の下方修正の必要性和積算の根拠、道央圏の工業出荷額の見積りと道央5港（新港、苫小牧港、室蘭港、小樽港、留萌港）へ取扱貨物量を振り分けた考え方、施設整備についての論議内容、係留施設などの改訂の基本的な考え方、中央水路のバースの利用方法、石油や天然ガスなど危険物の新港における取扱量とその対応、石油タンカーやガス輸送船などの荷役体制、港湾計画案の改訂スケジュール等について

石川 十四夫委員（道政）から、

スパイクタイヤ問題に関し、部長の車の使用タイヤの状況、スタッドレスタイヤの信頼性、スタッドレスタイヤの安全性と制動力、舗装改良の研究と実験の進み具合及び実用の

可能性、普通アスファルト舗装との工事費の比較、国道及び道道のロードヒーティングの進み具合、ロードヒーティングの施設整備促進に対する考え方、罰金つきの条例制定についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部、住宅都市部、農地開発部、労働部、農務部及び林務部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

中川 隆之委員（自民）から、

- (1) 日本海のさけ・ます資源対策に関し、今後の秋さけ資源増大対策の考え方、さくらます増養殖に対する今後の取り組み、河川における魚生育環境整備に対する見解
- (2) 水産物の流通問題に関し、今後の秋さけ流通対策の取り組み、水産物輸入実態の認識と本道水産物と競合する主な魚種の輸入実態、水産物の輸入増加傾向に対する見解、輸入増加に対する対処方法と高鮮度流通への具体的な方法等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

屋外広告物の規制に関し、照明づきの屋外広告物に対する苦情への認識、周囲の景観との調和に対する考え方、大型の広告物の実態、広告物の許可基準、建築基準法による確認の場合における「美観の維持」の取扱い、北海道屋外広告物条例施行規則と札幌市の屋外広告物の規制に関する規則との許可基準の相違・比較、道条例及び同施行規則の見直しに対する考え方、事務処理体制の整備及び見直しに対する考え方等について

藤井 虎雄委員（社会）から、

石炭問題と関連する諸問題に関し、電力用炭の引取り先変更が道内炭鉱に及ぼす影響と対処方針、国内炭と海外炭の価格差の比較は苫東1号機に限られることに対する見解、60年12月における北電の最大需給電力と供給予備電力に対する認識、北電の過剰な設備計画等について

久田 恭弘委員（自民）から、

特定地域中小企業対策臨時措置法の運用に

関し、国の助成措置と道の支援措置、道が作成する振興計画の内容とそのスケジュール、国の融資制度の概要、計画承認に対する取り組み姿勢、新法に基づく特定地域から外された不況地域に対し行う道の単独融資制度の対象地域とその選定基準、道の制度と国の制度との比較、融資条件が国の制度と異なる理由、道の融資枠と承認計画の取扱いに対する考え方等について

小野 秀夫委員（道政）から、

道産品の活用に関し、北海道の鉱工業生産の停滞の要因と当面の打開策に対する考え方、堂垣内道政における「公共事業の発注に際し、工事仕様書に道産資材の優先活用を明示」「年度当初に関係機関に対する道産工業製品優先活用の要請」「建設資材を中心とする道産品要覧や優良道産品カタログの作成配付」「北海道建設協会等関係団体に対する道産資材の活用への理解、協力要請」の継承の有無、横路道政における道産工業製品活用に対する取り組み、パイ・ホツカイドウ運動推進会議の効果に対する認識、道産資材の定義と道の60年度発注実績、鋼材やセメント等道産資材活用の推進方針、コンクリートの劣化問題に対する見解、セメント産業の現状に対する認識と見解、生コン業界の実態に対する認識、外国産セメント輸入増加の本道産業経済低迷の現状打開と道産品愛用の面からの道の取り組みに対する見解、関係機関による協議会的機関の設置を含め問題解決に対する認識及び所信等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

④ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

大橋 見議員（共産）から、

アイヌ文化の保存対策に関し、アイヌ文化普及の施策に対する見解、アイヌ文化の現状と認識、民俗文化の保護についての国及び道の対策状況、最近数年間におけるアイヌ文化の保存についての道と文化庁間の協議内容、ユーカラやサコロペを語れる人を人間国宝に指定することに対する見解、アイヌ文化保存の抜本的対策に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって

教育委員会所管に対する質疑を終結。

⑤ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

○12月20日（土） 午前11時8分、第1委員会室において開議、午前11時15分閉会

委員長 樫林 巖（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 委員長から、議案第1号ないし第5号及び第16号ないし第22号について、原案可決とすることについてはかり、異議なく決定。

次いで今津寛委員（自民）から、次の附帯意見を挿入されたい旨の動議があり、これをはかつて動議成立、直ちに本動議を議題とし異議なく決定。

（附 帯 意 見）

本道が当面する経済環境はまことに厳しいものがある。

道は、一層の景気浮揚に努めるとともに、目下の急務である雇用対策において、求人の開拓、雇用の創出について具体的施策を強力に推進すべきである。

- ③ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することについてはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。



10都道府県議会議長会（145回）

○11月6日（木） 静岡県において開催、地元静岡県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、兵庫県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定した。次いで、次回開催県を東京都に決定の後、全議次長から、最近の中央情勢について説明の後、閉会した。

1. 学童保育の制度化について
(東京都提出)
2. 私学助成について
(神奈川県提出)
3. 地域健康福祉システム開発について
(兵庫県提出)
4. 痴呆性老人対策の充実強化について
(静岡県提出)

資 料

第4回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	12. 20	12. 23	北海道条例第48号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第49号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第50号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第51号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第52号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第53号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第54号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第55号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第56号

昭和 61 年 提 出 案 件 の 処 理 状 況

知 事 提 出 案 件

定例 臨時	の別	提 出 件 数					処 理 状 況									
		条例案	予算	その他の議案	報告	計	原案可決	同意議決	承認議決	修正議決	認定議決	意見を付し認定議決	報告のみ	継続審査	撤回承認	計
1	臨	—	1	—	2	3	1	—	1	—	—	—	1	—	—	3
1	定	30	23	26	(1)	79(1)	75	1	—	—	—	—	—	3(1)	—	79(1)
2	臨	—	—	—	2	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2
2	定	13(2)	1	14(1)	48(1)	76(4)	25	3	16	(2)	—	(1)	26	6(1)	—	76(4)
3	定	2	6	11(1)	2(6)	21(7)	16	3	—	—	(2)	(4)	2	—	(1)	21(7)
4	定	9	8	9	6	32	24	2	—	—	—	—	5	1	—	32
計		54(2)	39	60(2)	60(8)	213(12)	141	9	18	(2)	(2)	(5)	35	10(2)	(1)	213(12)

注 括弧内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

議 員 提 出 案 件

定例 臨時	の別	提 出 件 数				処 理 状 況	
		決 議 案	会 議 案	意 見 案	計	原 案 可 決	計
1	定	1	—	8	9	9	9
2	臨	1	—	1	2	2	2
2	定	—	—	4	4	4	4
3	定	—	1	5	6	6	6
4	定	—	—	3	3	3	3
計		2	1	21	24	24	24

昭和 61 年 請 願 及 び 陳 情 の 処 理 状 況

定例会	請 願					陳 情				
	受理件数	採 択	取下げ	継続審査	計	受理件数	議決不要	取下げ	継続審査	計
1 定	6	—	—	49	49	3	1	1	20	22
2 定	6	1	1	53	55	1	1	—	20	21
3 定	2	—	1	54	55	2	—	—	22	22
4 定	1	—	—	55	55	2	—	—	24	24
計	15	1	2			8	2	1		

注 継続審査及び計欄の数値は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定があったものを含む。

昭和61年 議員提出案件の件名及び処理結果一覧

会 議 案

定例会	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
3 定	10. 29	1	北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案	古川靖晃議員ほか16人	10. 29	原案可決	議運等

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

決 議 案

定例臨時	の別	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 定		2. 28	1	北海道と中華人民共和国・黒竜江省との友好親善促進に関する決議	高木繁光議員ほか106人	2. 28	原案可決	全議員
2 臨		4. 28	1	北洋漁業対策特別委員会設置に関する決議	古川靖晃議員ほか13人	4. 28	同	議 運

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意 見 案

定例臨時	の別	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 定		2. 22	1	ポスト水田利用再編対策に関する要望意見書	中川義雄議員ほか12人	2. 22	原案可決	農務農開
		2. 28	2	ロソ漁業交渉に関する要望意見書	高橋康之議員ほか12人	2. 28	同	水 産
		同	3	昭和61年度畜産物価格等に関する要望意見書	中川義雄議員ほか12人	同	同	農務農開
		同	4	農産物の市場開放問題に関する要望意見書	同	同	同	同
		3. 19	5	北海道東北開発公庫の存置及び機能強化に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか26人	3. 19	同	総合開発調査特別
		3. 29	6	シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する要望意見書	渋谷澄夫議員ほか12人	3. 29	同	厚 生
		同	7	国立病院・療養所の存続等に関する要望意見書	同	同	同	同
		同	8	老人医療費の一部改定についての要望意見書	同	同	同	同

定例 臨時	の別	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
2	臨	4. 28	1	北洋漁業救済対策に関する要望意見書	松浦義信議員ほか15人	4. 28	原案可決	北洋漁業 対策特別
2	定	7. 12	1	新石炭政策に関する要望意見書	水岡 薫議員ほか14人	7. 12	同	石炭対策 特 別
		同	2	石炭鉱業の安定及び産炭地域振興に関する要望意見書	同	同	同	同
		7. 21	3	林業・木材産業に係る円高対策に関する要望意見書	木下一見議員ほか11人	7. 21	同	生環林務
		同	4	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	高橋康之議員ほか12人	同	同	水 産
3	定	9. 30	1	水田利用再編次期対策に関する要望意見書	中川義雄議員ほか12人	9. 30	同	農務農開
		同	2	昭和61年産畑作物価格等に関する要望意見書	同	同	同	同
		同	3	通行税の廃止及びこれに伴う航空運賃の引き下げに関する要望意見書	高木繁光議員ほか13人	同	同	総 務
		同	4	航空運賃格差の是正に関する要望意見書	同	同	同	同
		10. 29	5	小額貯蓄非課税制度の存続に関する要望意見書	同	10. 29	同	同
4	定	12. 9	1	地方財政の健全化の確立に関する要望意見書	同	12. 9	同	総 務
		12. 18	2	石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望意見書	水岡 薫議員ほか14人	12. 18	同	石炭対策 特 別
		12. 20	3	義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書	佐々木利昭議員ほか13人	12. 20	同	文 教

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

昭和61年 請願・陳情の件名及び処理経過一覧

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	北海道弓道連盟連合会 会長 長谷川 譲	58. 6. 21	58. 6. 29	文 教	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同	58. 6. 21	58. 6. 29	同	同
5	北海道を核戦場にさせないための件	新日本婦人の会 北海道本部 会長 渡辺 昌子	58. 7. 4	58. 7. 8	総 務	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚 生	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	文 教	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	商工労働	同
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚 生	同
12	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜元三郎	58. 7. 8	58. 7. 12	総 務	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	全日農北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	58. 7. 16	58. 7. 20	農務農開	同
14	平和に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	総 務	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	北海道高齢者退職者の会 連合会 会長 改発 治幸	58. 7. 20	58. 7. 23	厚 生	同
16	老人医療に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	同	同
17	灯油値下げに関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	商工労働	同
18	灯油値下げに関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	厚 生	同
19	公立高校の増築等に関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	文 教	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	富良野地方青色申告会連 合会 会長 竹本 清作	58. 8. 18	58. 9. 28	総 務	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	障害者の生活と権利を守 る北海道連絡協議会 会長 三浦 彌	58. 9. 19	58. 9. 28	同	同

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	空知生活と健康を守る会 滝川支部障害児をもつ母 親部会 代表 宮本三代子	58.12.7	58.12.15	文 教	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝 一義 ほか1人	58.12.13	58.12.26	同	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表 山科 喜一	59.2.23	59.3.2	商工労働	同
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	稲作農業を守る会 会長 酒井 金作 ほか1人	59.3.16	59.3.22	農務農開	同
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	地元で働く仕事と90日復活を求める広尾連絡会 代表 三浦千代志	59.3.22	59.3.27	建 設	同
45	同	同	59.3.22	59.3.27	商工労働	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	全気象労働組合北海道地方本部 執行委員長 生本 武 ほか1人	59.3.22	59.3.27	総 務	同
48	水産問題に関する件	全日本海員組合北海道地方支部長 松本 保	59.7.17	59.7.20	水 産	同
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	幌延町長 成松佐喜男ほか2人	59.7.19	59.7.25	エネルギー問題調査特別	同
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	幌延町高レベル放射性廃棄物施設誘致反対留萌地方住民会議 議長 中村利率ほか1人	59.7.20	59.7.25	同	同
51	対ソ貿易の振興について	社団法人北海道日ソ貿易協会理事長 柴野安三郎	59.7.21	59.7.25	商工労働	同
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	北海道大学生生活協同組合 理事長 安井 勉	59.10.4	59.10.8	生環林務	同
53	同	同	59.10.4	59.10.8	商工労働	同
54	同	同	59.10.4	59.10.8	厚生	同
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	太平洋海域アカイカ流網漁業実現期成会 会長 小西 久年	59.10.11	59.10.16	水 産	同
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝一義ほか1人	59.12.14	59.12.19	文 教	同
60	無認可保育所への助成に関する件	全道無認可保育所連絡会 代表者 高堰 静江	59.12.14	59.12.19	厚生	同
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	江差労働基準協会 会長 加賀谷喜太郎 ほか3人	59.12.19	59.12.22	商工労働	同

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
62	季節労働者対策の充実に関する件	地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表委員 山科 喜一	60. 2.25	60. 3. 4	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
63	同	同	60. 2.25	60. 3. 4	建 設	同
66	「非核北海道宣言」を求める件	「非核北海道宣言」の実現を求める北海道連絡会 齊藤 敏夫	60. 3.20	60. 3.23	総 務	同
70	道道赤平・奈井江線の歌志内地区街路事業の未着工区間の早期着工を求める件	歌志内市字文珠228番地4 亀田武治ほか4人	60.10.12	60.10.21	建 設	同
71	大型間接税の導入をとりやめ、大幅減税等を求める件	大型間接税反対のための道民連絡会代表 全北海道労働組合協議会 議長 森尾 昇	60.10.24	60.10.28	総 務	同
72	「国家機密法」に反対の件（外31件）	北海道高等学校教職員センター内 事務局長 伊藤 英敏	60.10.24	60.10.28	同	同
73	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	札幌市南区藤野 3条7丁目286 八戸謙一ほか1人	60.10. 9	60.10.13	文 教	同
74	シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する件	全国抑留者補償協議会 北海道連合会 会長 林 庄治郎	60.12.18	60.12.21	厚 生	同
75	国鉄羽幌線存続の件	国鉄羽幌線存続連合期成会 会長 羽幌町長 藤沢 一雄	61. 2.14	61. 2.22	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 取 下 げ
76	季節労働者対策の充実に関する件	全日自労建設一般労働組合北海道本部 執行委員長 藤田 新一	61. 2.21	61. 2.28	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
77	円高差益還元、灯油値下げに関する件	新日本婦人の会北海道本部 会長 渡辺 昌子	61. 2.27	61. 3. 4	同	同
78	円高差益、原油差益等の差益還元に関する件	全北海道労働組合協議会 議長 森尾 昇 ほか2人	61. 3. 7	61. 3. 3	同	同
79	公立高等学校授業料の値上げに反対し、父母負担の軽減を求める件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 齊藤 敏夫	61. 3. 5	61. 3.10	文 教	同
80	老人保健法の改悪に反対し、お年寄りが安心して医療を受ける権利を保障することを求める件	老人医療費引上げ反対全道連絡会 幹事 鈴木 好	61. 3.10	61. 3.14	厚 生	同
81	「安全保障会議設置法制定反対」の決議を求める件	札幌市中央区北1条 西7丁目 代表北海道母親大会連絡会 実行委員長 多嶋光子	61. 5. 2	委員会付託前取下げ (61. 6.10)		
82	北海道農業振興対策に関する件	空知郡中富良野町西中 稲作農業を守る会 事務局長 林 幹人	61. 6.14	61. 7. 8	農務農開	2 定継審 3 定継審 4 定継審
83	わが国 200 海里法の全面適用に関する件	北海道指導漁業協同組合連合会 会長理事 長崎 勝利	61.6. 26	61. 6. 8	水 産	2 定採択
84	パチンコ店出店に反対の件	花川北コミュニティセンター（仮称）前パチンコ店出店に反対する連絡協議会 会長 玉田和以ほか12人	61. 6. 6	61. 7.12	総 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
85	屋内公認総合水泳プールの建設を求める件	北海道立札幌中島体育セ ンター内北海道水泳連盟 会長 町村 信孝	61. 7. 8	61. 7. 12	文 教	2定継審 3定継審 4定継審
86	北海道看護職員修学資金貸付条例の返還免除条 件の改悪をやめ、貸付金額の引き上げ・借受者 枠の拡大を求める件	道修学資金貸付条例の改 悪をやめ制度充実をもと める看護学生連絡会 渥美ゆかり	61. 7. 12	61. 7. 16	厚 生	同
87	マンモス高校・過大学級の強制と機械的な間口 削減に反対し、公立高校の新増設、40人以下学 級の実現、私学への大幅な公費助成を求める件	北海道高等学校教職員組 合 中央執行委員長 斉藤 敏夫	61.10. 4	61.10.13	文 教	3定継審 4定継審
88	引揚者の在外財産に対する補償に関する件	全国引揚者団体北海道連 合会 会長 安彦 昭	61.10.24	61.10.28	厚 生	同
89	釧路市民生活協同組合の供給地域拡大反対の件	根室市商店街連合会 会長 山本 哲弘 ほか1人	61.12. 9	61.12.12	生環林務	4定継審

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
2	社会福祉法人釧路まリモ学園の運営に関する件	釧路市南浜町9番34号 亀岡 鶴雄	58. 7. 16	58. 7. 20	総 務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び 住民保護に関する件	「軍事費を削り、くらしと 福祉・教育の充実を」国 民大運動北海道実行委員 会 代表 斉藤 敏夫	58. 9. 27	58.10. 4	商工労働	同
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守 る決議に関する件	同	58. 9. 27	58.10. 4	厚 生	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医 療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃 を求める決議に関する件	同	58. 9. 27	58.10. 4	同	同
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対 し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	同	58. 9. 27	58.10. 4	総 務	同
7	指名競争入札執行の自粛の件	札幌市豊平区平岸1の2の 6の201号 武田 芳郎	58.10. 3	58.10.11	同	同
10	一級河川十勝川水系札内川第2札内橋架橋促進 に関する件	中川郡幕別町本町第2札 内橋架橋促進 幕別町期成会長 斉藤 正美	58.11. 4	58.12.15	建 設	同
11	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守 る決議に関する件	北海道統一戦線促進労働 組合懇談会 代表 中野 募	59. 2. 27	59. 3. 2	厚 生	同
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直し に関する件	小樽運河を守る会 会長 峰山富美	59. 3. 13	59. 3. 16	建 設	同
13	同	同	59. 3. 13	59. 3. 16	文 教	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	札幌支笏湖線沿線町内会 協議会会長 石山4区上 町町内会 会長 岡地正雄ほか1人	59. 6. 4	59. 6. 28	厚 生	同

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	生活協同組合市民生協中 央消費者運動委員会 委員長 田端 弘子	59. 6. 4	59. 6. 28	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	社団法人 北海道ウタリ 協会 理事長 野村 義一	59. 7. 12	59. 7. 16	同	同
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	在日外国人の指紋押捺問 題を考える会 代表世話人 加藤 潔	59. 10. 3	59. 10. 8	総 務	同
19	非木造校舎（ブロック造）の危険改築制度の創 設と銭函小学校の改築に関する件	銭函小学校改築期成会準 備委員会代表 銭函小学校PTA会長 六条 祐二ほか7人	59. 12. 15	59. 12. 19	文 教	同
22	手稲山の自然保全を求める件	手稲山の自然を守る会 代表者 前田 重和	60. 6. 18	60. 6. 26	生環林務	同
23	公立高校の新設と総合選抜制度の早期実施並び に公立高校生への公費補助を求める件	苫小牧公立高校新設をす める会 平井 湜	60. 11. 19	60. 12. 10	文 教	同
24	幌延の高レベル放射性廃棄物の研究・貯蔵施設 調査・建設反対に関する件	幌延を考える主婦の会 代表 斉藤代志美	60. 11. 22	60. 12. 10	エネルギ ー問題 調査特別	1 定 取 下 げ
25	現行の義務教育費国庫負担制度の堅持に関する 件	北海道学校事務労働組合 委員長 直島 峯夫	60. 12. 14	60. 12. 18	文 教	1 定 議決不要
26	公立小中学校事務職員等の週休二日制の早期実 施を求める件	同	61. 2. 22	61. 2. 28	同	1 定継審 2 定継審 議決不要
27	無認可保育所に関する件	北海道無認可保育所連絡 会 代表者 高堰 静江	61. 3. 11	61. 3. 14	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
28	幌延の高レベル放射性廃棄物の研究・貯蔵施設 の誘致反対に関する件	幌延を考える主婦の会 代表 斉藤代志美	61. 3. 25	61. 3. 26	エネルギ ー問題 調査特別	同
29	地区会館にかかる法人道民税の免除を求める件	財団法人篠路団地福祉会 館 理事長 高橋 北生	61. 6. 5	61. 7. 8	総 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
30	パチンコ店開業に反対の件	伏古地域の環境を守る会 会長 平尾 知子	61. 9. 11	61. 9. 30	同	3 定継審 4 定継審
31	道に学童保育施策の確立を求める件	北海道学童保育連絡協議 会 代表 高畑 順子	61. 9. 16	61. 9. 30	厚生	同
32	現行の義務教育費国庫負担制度の堅持に関する 件	北海道学校事務労働組合 委員長 直島 峯夫	61. 12. 1	61. 12. 9	文 教	4 定継審
33	学校事務職員に係わる義務教育費国庫負担制度 の継続適用に関する件	同	61. 12. 15	61. 12. 17	同	同

第38回衆議院議員総選挙結果

全国党派別当選者調

(昭和61年7月6日執行)

区 分 党派別	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)	前 回 の 当 選 者
	新	前	元	計				
自 民	43	228	29	300	322	29,875,496	49.4	250
社 会	10	72	3	85	138	10,412,583	17.2	112
公 明	3	52	1	56	61	5,701,277	9.4	58
共 産	3	16	7	26	129	5,313,246	8.8	26
民 社	2	23	1	26	56	3,895,927	6.4	38
新 自 民 連	1	5	0	6	12	1,114,800	1.8	8
二 院 派	0	3	1	4	5	499,670	0.8	3
サ ラ 新	0	0	0	0	0	—	—	0
税 金 派	0	0	0	0	0	—	—	0
諸 派	0	0	0	0	13	42,101	0.1	0
無 所 属	3	5	1	9	100	3,515,042	5.8	16
合 計	65	404	43	512	838	60,448,598	—	511

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

道内党派別当選者調

区 分 党派別	当 選 者				立 候 補 者				得 票 数	得票率 (%)	前回の 当選者
	新	前	元	計	新	前	元	計			
自 民	4	8	1	13	4	9	1	14	1,479,916	49.9	8
社 会	1	6	0	7	1	8	0	9	800,544	27.0	9
公 明	1	0	0	1	1	0	0	1	149,036	5.0	1
共 産	1	0	0	1	5	0	0	5	230,288	7.8	0
民 社	0	0	0	0	0	1	0	1	83,022	2.8	1
新 自 民 連	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
諸 派	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
無 所 属	0	1	0	1	1	2	0	3	220,416	7.4	3
計	7	15	1	23	12	20	1	33	2,963,222	—	22

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

都道府県別党派別当選者数調

区	分	区 数	定 数	自 民	社 会	公 明	共 産	民 社	新自ク	社民連	諸 派	無所属	
北海道	北青岩宮秋山福	道森手城田形島	(5)	(23)	13	7	1	1	0	0	0	0	1
			(2)	(7)	7	0	0	0	0	0	0	0	0
			(2)	(8)	6	2	0	0	0	0	0	0	0
			(2)	(9)	7	1	1	0	0	0	0	0	0
			(2)	(7)	5	2	0	0	0	0	0	0	0
			(2)	(7)	6	0	0	0	0	0	1	0	0
			(3)	(12)	8	3	0	0	1	0	0	0	0
茨栃群埼千東神奈	城木馬玉葉京川	(3)	(12)	8	2	1	0	1	0	0	0	0	0
		(2)	(10)	5	3	1	0	1	0	0	0	0	0
		(3)	(10)	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		(5)	(17)	9	2	3	1	1	1	0	0	0	0
		(4)	(18)	12	2	3	1	0	0	0	0	0	0
		(11)	(44)	19	5	10	8	0	1	1	0	0	0
		(5)	(20)	5	4	4	1	2	4	0	0	0	0
新潟石福	潟山川井	(4)	(13)	10	2	0	0	0	0	0	0	1	
		(2)	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	
		(2)	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	
		(1)	(4)	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
山形岐静愛三	梨野阜岡知重	(1)	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	
		(4)	(13)	9	3	0	0	1	0	0	0	0	
		(2)	(9)	6	1	1	0	0	0	0	0	1	
		(3)	(14)	10	2	1	0	1	0	0	0	0	
		(6)	(22)	11	2	2	1	4	0	0	0	2	
		(2)	(9)	6	2	1	0	0	0	0	0	0	
滋京大兵奈和歌	賀都阪庫良山	(1)	(5)	3	1	0	0	1	0	0	0	0	
		(2)	(10)	4	0	2	2	2	0	0	0	0	
		(7)	(27)	7	4	7	6	3	0	0	0	0	
		(5)	(19)	10	4	3	1	1	0	0	0	0	
		(1)	(5)	2	0	1	1	1	0	0	0	0	
		(2)	(6)	4	0	1	1	0	0	0	0	0	
鳥島岡広山	取根山島口	(1)	(4)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
		(1)	(5)	3	2	0	0	0	0	0	0	0	
		(2)	(10)	5	1	2	0	1	0	1	0	0	
		(3)	(12)	9	1	1	0	1	0	0	0	0	
		(2)	(9)	6	2	1	0	0	0	0	0	0	
徳香愛高	島川媛知	(1)	(5)	3	1	1	0	0	0	0	0	0	
		(2)	(6)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	
		(3)	(9)	7	1	1	0	0	0	0	0	0	
		(1)	(5)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	
福佐長熊大宮鹿沖児	岡賀崎本分崎島縄	(4)	(19)	9	4	4	0	1	0	1	0	0	
		(1)	(5)	3	1	0	0	0	0	0	0	1	
		(2)	(9)	6	2	0	0	1	0	0	0	0	
		(2)	(10)	6	1	1	0	0	0	0	0	2	
		(2)	(7)	4	2	0	0	1	0	0	0	0	
		(2)	(6)	5	0	0	0	1	0	0	0	0	
		(4)	(10)	7	3	0	0	0	0	0	0	0	
		(1)	(5)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	
合 計		(130)	(512)	300	85	56	26	26	6	4	0	9	

衆議院選挙区別候補者別得票数

北海道第1区(定数6人)

市区支庁名 (町村)	候補者名	竹村泰子 (無・前)	小林恒人 (社・前)	みのわ (自・前)	登 (共・新)	町村信孝 (自・前)	藤原ふさお (公・新)	さとう 静雄 (自・新)	有効投票
中 央 区		9,992	10,035	11,216	9,209	17,572	11,566	11,722	81,312
札 北 区		13,252	16,023	10,965	14,005	15,592	14,971	12,018	96,826
東 区		12,123	17,268	11,128	16,730	16,787	16,707	11,625	102,368
幌 白 区		15,512	19,888	11,643	18,969	19,197	21,426	12,845	119,480
豊 平 区		15,014	16,889	12,161	14,353	22,147	17,355	14,296	112,215
市 南 区		8,249	10,503	9,667	6,838	13,656	8,627	10,414	67,954
西 区		18,212	23,240	13,125	16,336	19,536	19,531	15,736	125,716
計		92,354	113,846	79,905	96,440	124,487	110,183	88,656	705,871
小 樽 市		7,386	16,861	22,414	14,550	5,086	12,614	11,322	90,233
江 別 市		8,600	6,597	4,871	5,468	9,950	5,711	4,036	45,233
千 歳 市		5,110	2,782	8,355	1,995	6,716	4,665	6,923	36,546
恵 庭 市		3,011	1,905	6,974	1,932	4,245	2,679	3,987	24,733
石 狩 支 庁		9,544	6,794	7,821	6,470	9,264	6,476	8,494	54,863
後 志 支 庁		5,555	12,508	11,971	5,934	5,293	6,708	29,291	77,260
合 計		131,560	161,293	142,311	132,789	165,041	149,036	152,709	1,034,739
市 部 計		116,461	141,991	122,519	120,385	150,484	135,852	114,924	902,616
郡 部 計		15,099	19,302	19,792	12,404	14,557	13,184	37,785	132,123
石 狩 支 庁									
広 島 町		3,959	2,917	2,222	2,391	3,155	2,325	2,475	19,444
石 狩 町		3,071	3,031	2,312	2,449	3,357	2,780	3,019	20,019
当 別 町		1,220	632	1,866	1,197	1,923	657	1,479	8,974

新 篠 津 村	297	76	540	74	458	149	936	2,530
厚 田 村	392	68	359	91	184	385	390	1,869
浜 益 村	605	70	522	268	187	180	195	2,027
計	9,544	6,794	7,821	6,470	9,264	6,476	8,494	54,863
後 志 支 庁								
島 牧 村	101	253	235	147	86	139	868	1,829
寿 都 町	240	577	677	331	173	259	1,002	3,259
黒 松 内 町	237	598	483	238	150	142	869	2,717
蘭 越 町	433	873	483	162	423	325	2,036	4,735
ニ 七 コ 町	162	305	318	189	94	187	1,662	2,917
真 狩 村	146	288	416	71	144	130	747	1,942
留 寿 都 村	67	167	240	85	132	120	517	1,328
喜 茂 別 町	162	617	280	68	149	221	949	2,446
京 極 町	114	463	255	52	227	182	1,293	2,586
俱 知 安 町	864	1,864	1,198	691	233	917	5,202	10,969
共 和 町	315	947	582	145	329	325	1,956	4,599
岩 内 町	710	1,695	1,712	965	1,050	1,245	3,327	10,704
泊 村	118	302	486	195	59	147	393	1,700
神 恵 内 村	115	169	152	56	81	119	396	1,088
積 丹 町	256	271	694	130	173	284	827	2,635
古 平 町	167	320	499	185	175	267	1,384	2,997
仁 木 町	244	478	430	342	236	207	1,152	3,089
余 市 町	1,050	2,169	2,725	1,791	1,279	1,428	4,355	14,797
赤 井 川 村	54	152	106	91	100	64	356	923
計	5,555	12,508	11,971	5,934	5,293	6,708	29,291	77,260

北海道第2区（定数4人）

市 区 支 庁 名 (町村)	候補者名	さ わ だ 耕 七 郎 (共・新)	村 上 茂 利 (自・前)	川 田 正 則 (自・元)	上 草 義 輝 (自・前)	五 十 嵐 広 三 (社・前)	安 井 吉 典 (社・前)	佐 々 木 邦 男 (無・新)	有 効 投 票
旭川市		8,482	31,022	42,527	29,397	42,025	35,068	5,634	194,155
留萌市		653	2,992	2,165	5,238	1,234	5,757	193	18,232
稚内市		1,388	6,432	4,728	4,872	7,384	1,824	418	27,046
士別市		588	2,537	2,932	3,241	4,943	894	394	15,529
名寄市		655	3,228	4,578	3,222	6,157	1,029	317	19,186
富良野市		674	2,091	3,660	2,160	906	5,739	211	15,441
上川支庁		2,110	13,717	20,146	13,398	10,821	19,990	1,217	81,399
留萌支庁		710	5,555	7,414	7,209	1,122	8,054	391	30,455
宗谷支庁		1,134	5,722	6,814	5,786	7,476	1,138	394	28,464
合 計		16,394	73,296	94,964	74,523	82,068	79,493	9,169	429,907
市 部 計		12,440	48,302	60,590	48,130	62,649	50,311	7,167	289,589
郡 部 計		3,954	24,994	34,374	26,393	19,419	29,182	2,002	140,318
上 川 支 庁									
鷹栖町		142	645	1,005	839	323	1,592	91	4,637
東神楽町		57	261	287	252	79	2,705	26	3,667
当麻町		96	1,808	755	1,730	405	1,117	53	5,964
比布町		236	519	840	613	275	923	49	3,455
愛別町		52	696	1,143	530	181	696	73	3,371
上川町		172	616	641	569	269	2,251	126	4,644
東川町		127	601	1,266	774	272	1,761	52	4,853
美瑛町		282	1,742	2,035	1,272	386	3,120	65	8,902
上富良野町		166	1,829	2,638	1,550	285	1,688	139	8,295

中富良野町	81	648	1,316	768	133	1,249	46	4,241
南富良野町	46	319	400	357	93	1,280	31	2,526
占冠村	20	90	247	131	29	428	9	954
和寒町	141	890	867	1,018	974	191	88	4,169
剣淵町	133	469	863	443	1,015	168	42	3,133
朝日町	36	191	448	508	640	92	10	1,925
風連町	62	685	1,704	554	1,214	171	118	4,508
下川町	62	599	754	832	1,281	189	47	3,764
美深町	127	664	2,178	323	1,500	278	46	5,116
音威子府村	37	79	258	152	575	47	23	1,171
中川町	35	366	501	183	892	44	83	2,104
計	2,110	13,717	20,146	13,398	10,821	19,990	1,217	81,399
留萌支庁								
増毛町	160	767	881	1,239	221	1,445	87	4,800
小平町	46	799	609	1,334	115	906	25	3,834
苫前町	80	659	1,046	721	109	912	36	3,563
羽幌町	186	1,670	1,794	1,497	249	2,103	156	7,655
初山別村	20	219	479	319	46	466	6	1,555
遠別町	50	723	942	603	62	727	17	3,124
天塩町	74	560	1,157	638	160	929	35	3,553
幌延町	94	158	506	858	160	566	29	2,371
計	710	5,555	7,414	7,209	1,122	8,054	391	30,455
宗谷支庁								
猿払村	89	306	588	505	552	68	19	2,127
浜頓別町	146	539	742	928	1,327	123	30	3,835
中頓別町	126	205	547	443	896	79	7	2,303

候補者名 市区支庁名 (町村)	ざわだ 耕七郎 (共・新)	村上 茂利 (自・前)	川 田 正 則 (自・元)	上 草 義 輝 (自・前)	五十嵐 広 三 (社・前)	安 井 吉 典 (社・前)	佐々木 邦 男 (無・新)	有効投票
校 幸 町	266	839	1,552	1,113	1,227	369	147	5,513
歌 登 町	59	467	431	460	681	69	11	2,178
豊 富 町	177	627	777	816	1,225	156	53	3,831
礼 文 町	94	680	889	630	480	144	73	2,990
利 尻 町	113	775	613	512	542	45	32	2,632
東 利 尻 町	64	1,284	675	379	546	85	22	3,055
計	1,134	5,722	6,814	5,786	7,476	1,138	394	28,464

北海道第3区 (定数3人)

候補者名 市区支庁名 (町村)	斎藤 みつり (共・新)	佐 藤 孝 行 (無・前)	阿 部 文 男 (自・前)	おくの 一 雄 (社・前)	有効投票
函 館 市	11,731	34,524	35,716	49,017	130,988
渡 島 支 庁	4,748	31,841	29,670	25,713	91,972
松 山 支 庁	2,661	13,322	11,847	8,654	36,484
合 計	19,140	79,687	77,233	83,384	259,444
市 部 計	11,731	34,524	35,716	49,017	130,988
郡 部 計	7,409	45,163	41,517	34,367	128,456
渡 島 支 庁					
松 前 町	301	2,859	2,633	1,528	7,321
福 島 町	186	1,577	1,897	839	4,499
知 内 町	91	1,446	1,246	799	3,582
木 古 内 町	207	1,249	1,580	1,332	4,368

上磯町	1,041	3,986	4,236	4,810	14,073
大野町	260	1,632	1,583	1,206	4,681
七飯町	716	3,234	2,766	4,189	10,905
戸井町	96	1,448	902	356	2,802
恵山町	81	1,658	989	558	3,286
檄法華村	27	448	453	210	1,138
南茅部町	131	2,693	1,693	868	5,385
鹿部町	55	1,359	652	431	2,497
砂原町	91	1,338	942	423	2,794
森町	380	3,078	2,864	2,271	8,593
入雲町	597	2,743	3,454	3,395	10,189
長万部町	488	1,093	1,780	2,498	5,859
計	4,748	31,841	29,670	25,713	91,972

桧山支庁					
江差町	646	1,754	1,866	2,199	6,465
上ノ国町	300	1,430	1,394	1,207	4,331
厚沢部町	251	1,235	1,389	833	3,708
乙部町	356	1,379	975	676	3,386
熊石町	154	625	1,386	661	2,826
大成町	189	981	754	342	2,266
奥尻町	132	986	1,335	424	2,877
瀬棚町	70	1,089	572	342	2,073
北松山町	269	2,535	609	841	4,254
今金町	294	1,308	1,567	1,129	4,298
計	2,661	13,322	11,847	8,654	36,484

北海道第4区(定数5人)

候補者名 市区支庁名 (町村)	小平 (民・前)	忠 (民・前)	ほとやま由起夫 (自・新)	島垣正信 (共・新)	中沢けんじ (社・新)	渡辺省一 (自・前)	いけはた清一 (社・前)	高橋辰夫 (自・前)	有効投票
室蘭市	8,903		33,629	5,285	1,111	1,801	21,117	3,204	75,050
夕張市	1,623		697	1,690	10,284	2,752	653	1,036	18,735
岩見沢市	10,962		2,959	3,467	12,294	7,613	1,864	3,356	42,515
苫小牧市	9,427		7,190	7,208	3,047	7,852	18,546	23,186	76,456
美唄市	2,920		806	1,339	4,953	9,666	568	1,016	21,268
芦別市	1,860		1,456	1,096	7,133	2,498	722	2,807	17,572
赤平市	861		1,550	914	5,569	3,490	354	562	13,300
三笠市	1,509		751	816	6,485	2,278	360	621	12,820
滝川市	3,675		3,480	1,882	7,141	4,826	1,408	4,658	27,070
砂川市	2,147		1,054	875	4,661	2,795	717	1,274	13,523
歌志内市	268		511	643	3,117	1,143	140	157	5,979
深川市	3,299		3,695	1,266	4,284	3,216	1,390	2,820	19,970
登別市	3,214		9,133	3,860	564	1,328	9,158	5,316	32,573
伊達市	2,026		5,015	1,233	516	958	4,253	6,088	20,089
空知支庁	19,554		6,778	3,294	13,950	17,196	2,413	12,973	76,158
胆振支庁	5,290		6,794	2,797	1,135	5,780	9,813	16,719	48,328
日高支庁	5,484		7,503	3,386	1,295	9,434	14,127	14,504	55,733
合 計	83,022		93,001	41,051	87,539	84,626	87,603	100,297	577,139
市 部 計	52,694		71,926	31,574	71,159	52,216	61,250	56,101	396,920
郡 部 計	30,328		21,075	9,477	16,380	32,410	26,353	44,196	180,219

空知支庁

北村	1,760	96	83	284	685	50	237	3,195
栗沢町	2,103	376	197	1,488	1,186	128	755	6,233
南幌町	1,176	245	146	434	1,006	98	601	3,706
奈井江町	902	292	411	1,129	1,371	202	1,056	5,363
上砂川町	249	195	580	3,177	1,220	245	211	5,877
由仁町	1,393	482	135	955	1,111	156	1,008	5,240
長沼町	1,664	427	416	1,017	1,957	211	2,231	7,923
栗山町	2,293	1,372	503	2,095	1,802	293	1,716	10,074
月形町	1,151	459	61	475	961	82	249	3,438
浦臼町	849	176	42	233	617	92	226	2,235
新十津川町	1,429	557	158	712	1,185	214	1,576	5,831
妹背牛町	884	468	100	441	729	117	849	3,588
秩父別町	752	210	103	242	840	82	485	2,714
雨竜町	515	518	71	369	685	80	429	2,667
北竜町	789	312	42	186	285	92	513	2,219
沼田町	1,198	393	171	408	837	131	596	3,734
幌加内町	447	200	75	305	719	140	235	2,121
計	19,554	6,778	3,294	13,950	17,196	2,413	12,973	76,158

胆振支庁

豊浦町	284	729	193	61	546	726	1,283	3,822
虻田町	633	901	239	111	824	1,868	1,805	6,381
洞爺村	210	260	43	19	184	132	621	1,469
大滝村	52	281	48	36	79	125	429	1,050
壮瞥町	240	318	87	45	462	457	969	2,578
老母町	1,348	1,405	982	521	1,337	2,169	5,813	13,575

市 区 支 庁 名 (町村)	候補者名	小 平 忠 (民・前)	はとやま由起夫 (自・新)	島 垣 正 信 (共・新)	中 沢 けんじ (社・新)	渡 辺 省 一 (自・前)	いげはた 清一 (社・前)	高 橋 辰 夫 (自・前)	有効投票
早 来 町		239	601	144	76	570	521	1,557	3,708
追 分 町		234	231	322	64	277	1,337	544	3,009
厚 真 町		753	621	137	62	667	698	1,354	4,292
鶴 川 町		804	907	372	88	571	978	1,675	5,395
穂 別 町		493	540	230	52	263	802	669	3,049
計		5,290	6,794	2,797	1,135	5,780	9,813	16,719	48,328
日 高 支 庁									
日 高 町		115	290	168	54	191	620	481	1,919
平 取 町		754	411	230	109	861	1,281	1,159	4,805
門 別 町		953	872	448	183	1,483	1,801	2,326	8,066
新 冠 町		448	479	186	72	738	880	1,079	3,882
静 内 町		1,217	2,206	915	278	1,903	3,801	3,240	13,560
三 石 町		482	209	132	44	907	798	1,655	4,227
浦 河 町		868	1,434	977	397	1,059	3,172	2,309	10,216
様 似 町		427	747	158	91	1,042	895	1,267	4,627
え り も 町		220	855	172	67	1,250	879	988	4,431
計		5,484	7,503	3,386	1,295	9,434	14,127	14,504	55,733

北海道第5区 (定数5人)

市区町村名 (町村)	候補者名 たけべ (自・新)	勤北村 (自・新)	なもと しんむら (社・前)	源雄 しばた (共・新)	重郎太 中川 (自・前)	岡田利春 (社・前)	島田たくろう (社・前)	鈴木宗男 (自・前)	有効投票
釧路市	2,855	50,235	767	4,921	6,495	47,059	596	5,609	118,537
帯広市	1,852	2,728	24,286	3,111	37,608	1,639	682	17,712	89,618
北見市	26,325	2,818	417	2,130	4,268	1,041	17,200	5,703	59,902
網走市	9,598	552	204	851	2,022	599	6,731	4,204	24,761
紋別市	6,268	497	179	615	1,395	357	5,162	4,000	18,473
根室市	1,678	5,300	183	1,167	3,396	5,431	161	2,668	19,984
網走支庁	46,491	6,588	543	2,194	9,563	1,383	36,900	13,667	117,329
十勝支庁	2,230	5,105	41,310	3,275	41,877	1,995	607	29,337	125,736
釧路支庁	2,165	24,374	341	1,718	6,061	14,915	284	5,692	55,550
根室支庁	4,128	8,144	279	932	5,464	7,531	382	5,243	32,103
合 計	103,590	106,341	68,509	20,914	118,149	81,950	68,705	93,835	661,993
市 部 計	48,576	62,130	26,036	12,795	55,184	56,126	30,532	39,896	331,275
郡 部 計	55,014	44,211	42,473	8,119	62,965	25,824	38,173	53,939	330,718
網走支庁									
東 琴 村	624	450	7	44	187	9	424	367	2,112
女 満 別 町	1,578	698	22	40	386	79	735	662	4,200
美 幌 町	6,152	786	84	266	2,221	264	3,957	2,170	15,900
津 別 町	1,809	327	18	182	682	63	2,287	469	5,837
斜 里 町	5,314	552	53	199	146	151	3,080	461	9,956
清 里 町	1,865	244	12	45	61	44	1,739	347	4,357
小 清水 町	2,130	125	10	191	232	33	1,577	346	4,644
端 野 町	1,805	159	5	39	278	38	753	455	3,532
訓 子 府 町	2,087	509	33	124	339	135	1,055	516	4,798

市 区 支 庁 名 (町村)	候補者名	たけべ (自・新)	勤 北 村 な お と (自・新)	しんむら 源 雄 (社・前)	しばた 重 郎 太 (共・新)	中 川 昭 一 (自・前)	岡 田 利 春 (社・前)	島 田 た く ろ う (社・前)	鈴 木 宗 男 (自・前)	有 効 投 票
置戸町		1,609	135	8	52	256	20	1,369	383	3,832
留辺蘂町		3,007	243	51	152	467	73	3,085	1,252	8,330
佐呂間町		2,173	198	16	106	435	29	2,031	505	5,493
常呂町		1,743	234	18	54	394	28	764	624	3,859
生田原町		844	79	4	32	342	24	839	244	2,408
遠軽町		4,269	1,052	99	316	1,050	168	4,419	1,304	12,677
丸瀬布町		797	22	3	40	62	12	969	227	2,132
白滝村		480	32	1	8	26	4	557	102	1,210
上湧別町		1,701	156	24	73	376	34	2,111	646	5,121
湧別町		1,773	201	8	25	311	18	1,472	294	4,102
滝上町		913	87	22	28	626	26	1,287	579	3,568
興部町		1,636	137	27	62	235	58	1,281	530	3,966
西興部村		440	31	6	16	109	10	289	104	1,005
雄武町		1,742	131	12	100	342	63	820	1,080	4,290
計		46,491	6,588	543	2,194	9,563	1,383	36,900	13,667	117,329
十勝支庁										
音更町		212	734	6,771	621	7,640	276	122	4,101	20,477
士幌町		20	123	1,641	208	1,575	34	9	1,050	4,660
上士幌町		129	112	2,371	73	1,079	66	15	734	4,579
鹿追町		83	576	1,355	60	1,373	60	18	713	4,238
新得町		44	266	2,331	105	1,676	108	22	1,266	5,818
清水町		82	882	2,590	237	2,754	167	67	1,283	8,062
芽室町		371	249	2,939	384	4,186	245	71	1,894	10,339
中札内村		21	63	1,140	78	783	15	16	468	2,584
更別村		10	52	672	43	938	34	5	602	2,356

忠	類	村	62	39	527	25	548	12	5	210	1,428
大	樹	町	88	43	1,514	122	2,244	63	31	1,046	5,151
広	尾	町	368	46	1,299	152	3,247	80	30	1,651	6,873
幕	別	町	175	297	4,660	520	4,663	271	37	2,480	13,103
池	田	町	61	532	2,933	124	2,055	125	32	1,345	7,207
豊	頃	町	103	169	1,128	58	1,363	43	12	867	3,743
本	別	町	96	365	2,856	135	2,010	114	50	2,462	8,088
足	寄	町	18	166	1,835	139	947	69	24	4,557	7,755
陸	別	町	30	91	1,009	75	550	33	18	1,374	3,180
浦	幌	町	257	300	1,739	116	2,246	180	23	1,234	6,095
	計		2,230	5,105	41,310	3,275	41,877	1,995	607	29,337	125,736
釧路支庁											
釧	路	町	418	4,623	42	304	635	2,346	35	633	9,036
厚	岸	町	285	2,851	47	360	1,743	2,088	39	1,825	9,238
浜	中	町	253	1,960	24	137	842	1,372	16	1,010	5,614
標	茶	町	192	3,107	42	290	726	2,367	53	396	7,173
弟	子	町	544	2,973	50	132	603	2,139	62	624	7,127
阿	寒	町	125	2,422	31	90	577	1,101	25	427	4,798
鶴	居	村	8	1,420	9	91	16	204	2	32	1,782
白	糠	町	163	3,917	69	264	605	2,840	37	511	8,406
音	別	町	177	1,101	27	50	314	458	15	234	2,376
	計		2,165	24,374	341	1,718	6,061	14,915	284	5,692	55,550
根室支庁											
根	室	村	1,282	2,894	127	549	2,240	2,017	226	1,657	10,992
中	標	津	976	3,782	91	291	1,440	3,447	97	2,010	12,134
標	津	町	967	933	34	52	742	1,150	37	527	4,442
羅	白	町	903	535	27	40	1,042	917	22	1,049	4,535
	計		4,128	8,144	279	932	5,464	7,531	382	5,243	32,103

第14回参議院議員通常選挙結果

全国党派別当選者数等調

(昭和61年7月6日執行)

区 分 党 派 別		選 者									今 回 改選後 議員数	改 選 前 議 員 数		
		合 計	比 例 代 表				選 挙 区					今回 改選	非改選	計
			現	元	新	計	現	元	新	計				
自 民 党	民 会	72	17	0	5	22	34	1	15	50	140	63	68	131
	社 会	20	5	0	4	9	9	0	2	11	41	20	21	41
	公 明	10	4	0	3	7	2	0	1	3	24	12	14	26
	民 産	9	3	0	2	5	3	1	0	4	16	7	7	14
	新 社 民	5	1	0	2	3	2	0	0	2	12	7	7	14
	連 合	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1
	新 社 民	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	二 院 制	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1	2	3
	サ ン 派	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	2	2
	税 務 派	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	1
諸 無 所 属		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6	0	0	0	0	3	0	3	6	7	6	1	7
合 計		126	32	0	18	50	53	2	21	76	欠員1 252	欠員10 126	欠員1 126	欠員11 252

全国党派別立候補者数・得票数調

区 分 党派別	合 計	立 候 補 者								得 票 状 況			
		比 例 代 表				選 挙 区				比 例 代 表		選 挙 区	
		現	元	新	計	現	元	新	計	得 票 数	得票率 (%)	得 票 数	得票率 (%)
自 民 党	83	17	0	8	25	36	1	21	58	22,132,573	38.6	26,110,458	45.1
社 会 党	58	5	0	13	18	9	0	31	40	9,869,088	17.2	12,464,216	21.5
公 明 党	21	4	0	13	17	3	0	1	4	7,438,501	13.0	2,549,037	4.4
民 生 党	71	3	0	22	25	4	1	41	46	5,430,838	9.5	6,617,742	11.4
新 社 民 党	27	2	0	15	17	4	0	6	10	3,940,325	6.9	2,643,370	4.6
新 社 民 党	7	1	0	6	7	0	0	0	0	1,367,291	2.4	—	—
新 社 民 党	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
二 院 制	10	1	0	9	10	0	0	0	0	1,455,532	2.5	—	—
サ ン 派	9	0	0	9	9	0	0	0	0	1,759,484	3.1	—	—
税 務 派	10	0	0	9	9	0	0	1	1	1,803,051	3.1	327,444	0.6
福 祉 派	10	0	0	10	10	0	0	0	0	570,995	1.0	—	—
諸 派	177	0	0	96	96	0	0	81	81	1,595,064	2.8	1,193,276	2.1
無 所 属	23	—	—	—	—	6	0	17	23	—	—	6,032,683	10.4
計	506	33	0	210	243	62	2	199	263	57,362,742	—	57,938,226	—

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

都道府県別党派別当選者数調

区 分	定 数	自 民	社 会	公 明	共 産	民 社	税 金	諸 派	無 所 属
北海道 北青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	(4)	2	1	0	1	0	0	0	0
	(1)	0	0	0	0	0	0	0	1
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
茨城県 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京都 神奈川	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(2)	2	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	2	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(4)	2	0	1	1	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
新潟県 富山 石川 福井	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
山梨県 長野 岐阜 静岡県 愛知県 三重	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	1	0	0	0	0	0	0
	(3)	1	0	0	0	1	0	0	1
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県 京都 大阪 兵庫県 奈良 和歌山	(1)	0	0	0	0	0	0	0	1
	(2)	1	0	0	1	0	0	0	0
	(3)	0	0	1	1	0	0	0	1
	(3)	1	1	1	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県 島根 岡山 広島 山口	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	1	0	0	0	0	0	0	1
	(2)	1	0	0	0	1	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
徳島県 香川県 愛媛 高知	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
福岡県 佐賀 長門 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	(3)	2	1	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(2)	2	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	0	0	0	0	0	0	0	1
	(2)	2	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	(76)	50	11	3	4	2	0	0	6

参議院選挙区選出議員候補者別得票数

1. 支庁・市別

市町村名	候補者名	土田 弘 (無・新)	たかぎ 正明 (自・現)	岩本 政光 (自・現)	純二 小笠原 貞子 (社・新)	野上 ぶさ子 (みどり・新) (の連合)	つしま 孝且 (社・現)	とべりへい (無・新)	有効投票
石狩市	狩	10,641	9,757	11,700	482	10,396	8,613	347	52,460
渡島市	島	4,918	22,998	16,913	768	12,292	28,186	817	87,724
松山市	山	3,026	8,598	7,041	264	6,460	8,905	289	34,889
後志市	志	4,068	20,619	15,112	494	11,753	20,236	489	73,266
空知市	知	14,797	16,396	14,339	475	8,845	17,487	445	73,251
上川市	川	35,230	17,499	12,926	462	8,048	3,383	456	78,563
留萌市	萌	9,218	7,723	5,615	235	2,591	3,220	183	28,988
宗谷市	谷	7,418	6,669	6,939	196	3,740	1,966	193	27,370
網走市	走	43,549	26,030	25,391	650	10,777	5,018	712	112,866
胆振市	振	2,092	11,221	10,005	447	7,394	13,877	463	46,002
日高市	高	1,995	12,376	12,619	452	8,507	16,969	406	53,803
十勝市	勝	45,238	32,755	18,567	573	14,059	7,112	620	119,718
釧路市	路	2,075	14,296	11,293	492	7,581	15,049	469	51,767
根室市	室	2,274	8,868	6,327	207	3,496	8,460	343	30,320
支庁計	計	186,539	215,805	174,787	6,197	115,939	158,481	6,232	870,987
札幌市	札幌市	75,601	113,498	152,598	6,914	149,573	160,343	6,036	675,729
函館市	函館市	3,725	27,339	19,325	849	24,932	47,167	987	126,042
小樽市	樽市	3,749	14,074	17,414	829	23,665	23,866	1,020	85,748
旭川市	川市	59,440	36,780	35,801	1,532	31,458	17,395	1,197	186,381
室蘭市	蘭市	3,234	8,658	18,133	713	14,038	25,877	444	71,971
釧路市	路市	3,308	20,397	21,081	986	20,117	44,120	865	112,311
帯広市	広市	22,620	24,599	15,761	551	13,629	7,471	623	86,494

北見市	18,194	11,172	12,826	411	8,827	461	5,378	438	57,707
夕張市	544	1,298	1,790	92	3,137	86	11,267	90	18,304
岩見沢市	3,472	7,330	6,725	349	7,360	317	14,831	300	40,684
網走市	7,866	5,013	4,827	269	3,557	176	1,856	144	23,708
留萌市	6,095	4,153	3,212	125	2,277	142	1,656	112	17,772
苫小牧市	3,078	11,751	13,744	1,547	17,112	1,063	24,291	870	73,456
稚内市	8,248	2,875	8,876	168	3,893	203	1,745	166	26,174
美唄市	3,084	2,599	4,534	152	2,862	158	6,741	108	20,238
芦別市	1,042	2,845	2,547	85	2,307	92	8,211	104	17,233
江別市	9,719	8,300	7,735	483	8,218	579	7,842	269	43,145
赤平市	363	1,482	2,191	77	1,975	95	6,637	79	12,899
紋別市	5,045	4,031	3,747	149	2,692	210	1,355	137	17,366
士別市	6,978	3,056	1,947	95	2,111	111	712	100	15,110
名寄市	7,456	3,578	4,249	103	1,770	203	904	114	18,377
三笠市	524	1,827	1,274	64	1,808	88	6,795	69	12,449
根室市	543	4,817	3,677	150	3,750	210	5,774	235	19,156
千歳市	4,632	9,224	11,783	344	3,593	515	4,342	405	34,838
滝川市	2,298	4,607	6,085	174	4,062	175	8,694	189	26,284
砂川市	948	1,694	2,725	135	2,034	99	5,414	92	13,141
歌志内市	111	345	866	31	1,089	16	3,394	22	5,874
深川市	3,056	3,747	3,145	104	2,895	133	6,146	101	19,327
富良野市	6,510	3,247	2,367	98	1,706	143	816	137	15,024
登別市	1,242	3,976	5,901	267	6,461	310	12,796	205	31,158
恵庭市	2,760	7,010	7,670	215	3,026	254	2,649	233	23,817
伊達市	975	3,978	4,114	281	3,381	314	5,868	154	19,065
市計	276,480	359,300	408,670	18,342	379,315	26,497	482,353	16,045	1,966,982
合計	462,999	575,105	583,457	24,539	495,254	33,504	640,834	22,277	2,837,969

2. 区 町 村 別

市町村名	候補者名 土田 弘 (無・新)	たかぎ 正 明 (自・現)	岩 本 政 光 (自・現)	ごうだ 純 二 (社・新)	小笠原 貞 子 (共・現)	野 上 ぶさ子 (みどり・新) (の連合)	つしま 孝 且 と (社・現)	と べ り へい (無・新)	有効投票
中 央 区	6,997	16,740	20,453	587	14,795	1,444	15,942	709	77,667
北 区	7,644	14,455	20,152	952	21,136	1,373	26,408	870	92,990
東 区	14,209	20,245	15,689	1,280	25,001	1,658	19,075	788	97,945
白 石 区	18,061	15,567	22,968	1,217	29,520	1,732	23,819	1,036	113,920
豊 平 区	8,790	16,858	28,753	988	22,320	1,593	26,934	1,072	107,308
南 区	9,789	9,863	21,971	522	10,716	1,090	11,102	494	65,547
西 区	10,111	19,770	22,612	1,368	26,085	2,276	37,063	1,067	120,352
札幌市計	75,601	113,498	152,598	6,914	149,573	11,166	160,343	6,036	675,729
広 島 町	4,225	2,694	3,891	192	3,917	215	3,318	132	18,584
石 狩 町	3,475	3,714	3,583	194	3,916	218	3,951	124	19,175
当 別 町	1,525	1,821	2,619	61	1,879	60	676	60	8,701
新 篠 津 村	368	990	648	13	128	12	123	8	2,290
厚 田 村	509	292	448	10	185	12	273	19	1,748
浜 益 村	539	246	511	12	371	7	272	4	1,962
石 狩 支 庁 計	10,641	9,757	11,700	482	10,396	524	8,613	347	52,460
松 前 町	359	2,150	1,392	53	974	62	1,964	51	7,005
福 島 町	250	1,316	846	50	669	53	962	60	4,206
知 内 町	207	1,055	848	46	296	37	899	33	3,421
木 古 内 町	356	944	828	33	507	33	1,367	35	4,103
上 磯 町	707	2,960	2,098	199	2,299	155	4,879	164	13,461
大 野 町	319	1,361	705	29	640	40	1,362	47	4,503
七 飯 町	991	2,099	1,439	127	1,607	102	4,081	65	10,511
戸 井 町	75	879	735	15	378	18	504	32	2,636

恵山町	81	1,106	559	22	355	44	814	30	3,011
楢法華村	27	340	240	6	100	3	378	10	1,104
南茅部町	158	1,513	1,519	28	661	47	1,157	67	5,150
鹿部町	118	601	707	16	240	63	531	59	2,335
砂原町	57	877	709	24	407	25	567	17	2,683
森町	386	2,223	1,647	54	1,044	64	2,534	61	8,013
八雲町	695	2,546	1,575	41	1,247	52	3,670	60	9,886
長万部町	132	1,028	1,066	25	868	34	2,517	26	5,696
渡島支庁計	4,918	22,998	16,913	768	12,292	832	28,186	817	87,724
江差町	254	1,015	1,214	69	1,383	44	2,190	56	6,225
上ノ国町	210	1,000	805	25	710	20	1,349	21	4,140
厚沢部町	370	938	786	29	533	29	819	60	3,564
乙部町	114	893	612	11	793	37	748	22	3,230
熊石町	124	576	657	29	472	24	721	37	2,640
大成町	87	646	425	36	507	29	452	11	2,193
奥尻町	124	716	824	14	419	40	533	42	2,712
瀬棚町	135	773	460	7	226	12	368	5	1,986
北桧山町	711	984	663	14	716	46	876	21	4,031
今金町	897	1,057	595	30	701	25	849	14	4,168
桧山支庁計	3,026	8,598	7,041	264	6,460	306	8,905	289	34,889
島牧村	44	437	479	7	295	17	454	10	1,743
寿都町	101	756	697	8	611	20	901	16	3,110
黒松内町	112	674	463	12	438	15	853	14	2,581
蘭越町	445	1,160	1,017	38	401	26	1,292	34	4,413
ニセコ町	137	1,107	467	8	410	27	581	25	2,762
真狩村	182	863	224	12	146	14	427	15	1,883
留寿都村	115	466	251	11	162	6	266	13	1,290

候補者名 市町村名		土田 (無・新)	弘 (自・現)	たかぎ (自・現)	正明 (自・現)	岩本 (自・現)	政光 (社労・新)	純二 (共・現)	小笠原 (共・現)	貞子 (みどり・新) (の連合)	野上 (社・現)	つしま (無・新)	孝且 (無・新)	とべりへい (無・新)	有効投票票
喜茂別町		260		579		472	5	137		11		876		19	2,359
京極町		198		1,091		297	7	147		8		737		14	2,499
倶知安町		547		3,342		1,795	39	1,156		68		3,623		66	10,636
共和町		342		1,273		881	34	380		25		1,343		25	4,303
岩内町		395		2,775		1,992	89	1,910		75		2,712		74	10,022
泊村		30		471		288	8	360		7		439		5	1,608
神恵内村		17		208		268	4	145		3		357		7	1,009
積丹町		207		649		654	16	359		11		460		11	2,367
古平町		104		777		695	25	561		38		584		17	2,801
仁木町		174		611		812	27	630		24		636		29	2,943
余市町		622		3,143		3,141	140	3,337		97		3,473		94	14,047
赤井川町		36		237		219	4	168		3		222		1	890
後志支庁計		4,068		20,619		15,112	494	11,753		495		20,236		489	73,266
北村		959		1,001		347	17	221		28		336		13	2,922
栗沢町		1,337		1,480		751	50	630		44		1,638		38	5,968
南幌町		904		905		677	23	442		19		573		27	3,570
奈井江町		686		1,129		1,035	90	803		32		1,387		43	5,205
上砂川町		89		340		437	18	1,053		20		3,811		22	5,790
由仁町		1,175		782		1,277	26	439		33		1,302		44	5,078
長沼町		1,596		1,897		1,632	45	1,225		54		1,164		51	7,664
栗山町		1,455		1,890		1,999	55	1,436		87		2,712		63	9,697
月形町		639		870		804	14	255		20		613		20	3,235
浦臼町		697		505		415	9	167		11		332		8	2,144
新十津川町		1,050		1,497		1,315	47	650		40		988		31	5,618
妹背牛町		509		1,170		704	13	323		14		534		11	3,278

秩父別町	793	590	643	10	245	7	345	12	2,645
雨竜町	719	580	484	16	229	16	494	21	2,559
北竜町	776	600	370	6	112	9	315	13	2,201
沼田町	953	834	847	31	432	26	472	15	3,610
幌加内町	460	326	602	5	183	7	471	13	2,067
空知支庁計	14,797	16,396	14,339	475	8,845	467	17,487	445	73,251
鷹栖町	2,252	832	641	29	560	18	149	20	4,501
東神楽町	2,229	465	361	14	301	17	184	12	3,583
当麻町	2,173	1,496	833	45	619	82	302	26	5,576
比布町	1,204	582	638	23	701	35	144	25	3,352
愛別町	985	1,106	702	29	270	21	119	19	3,251
上川町	2,381	595	663	21	534	32	214	20	4,460
東川町	2,155	834	811	29	587	26	235	18	4,695
美瑛町	3,816	1,897	1,164	53	1,064	57	456	74	8,581
上富良野町	2,178	2,182	2,170	45	763	78	498	80	7,994
中富良野町	2,005	1,142	524	11	323	38	86	29	4,158
南富良野町	1,508	477	230	13	149	10	97	9	2,493
占冠村	465	180	188	9	36	5	38	1	922
和寒町	1,634	846	901	35	454	19	142	25	4,056
剣淵町	1,539	406	476	13	439	30	134	19	3,056
朝日町	758	758	220	7	113	2	30	9	1,897
風連町	2,463	833	623	17	245	37	91	25	4,334
下川町	1,715	806	589	35	227	17	169	14	3,572
美深町	2,176	1,325	763	25	456	22	199	19	4,985
音威子府村	622	223	140	3	88	6	39	3	1,124
中川町	972	514	289	6	119	7	57	9	1,973
上川支庁計	35,230	17,499	12,926	462	8,048	559	3,383	456	78,563

候補者名		土田 弘										岩本 政光										純二 小笠原 貞子										野上 ふさ子										つしま 孝且										とべりへい										有効投票票																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
市区町村名		(無・新)					(自・現)					(自・現)					(社労・新)					(共・現)					(みどり・新) (の連合)					(社・現)					(無・新)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
増毛町		1,386	1,007	925	52	593	37	555	29	4,584																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

清里町	2,044	948	736	33	239	32	136	20	4,188
小清水町	1,911	781	873	23	600	39	164	28	4,419
端野町	1,435	880	536	20	286	11	203	21	3,392
訓子府町	1,895	1,006	897	33	601	13	185	26	4,656
置戸町	2,464	475	565	9	186	6	35	6	3,746
留辺蘂町	3,694	739	2,550	37	650	37	284	61	8,052
佐呂間町	2,136	1,190	1,032	31	500	59	216	39	5,203
常呂町	1,085	862	986	24	391	26	218	54	3,646
生田原町	908	648	496	13	169	10	75	7	2,326
遠軽町	4,307	1,985	4,193	77	1,118	60	517	58	12,315
丸瀬布町	921	459	500	6	143	5	42	7	2,083
白滝村	554	255	290	1	45	2	21	2	1,170
上湧別町	2,242	743	1,292	16	436	30	173	2	4,934
湧別町	1,193	1,299	896	20	289	25	152	46	3,920
滝上町	1,524	888	711	18	158	20	111	16	3,446
興部町	1,492	868	814	17	374	28	190	37	3,820
西興部村	316	218	276	7	105	8	37	7	974
雄武町	859	1,262	916	23	701	20	275	41	4,097
網走支庁計	43,549	26,030	25,391	650	10,777	739	5,018	712	112,866
豊浦町	145	1,054	844	42	480	66	961	28	3,620
虻田町	223	1,146	1,386	37	816	47	2,371	53	6,079
洞爺村	113	505	336	17	191	15	195	21	1,393
大滝村	45	264	281	5	133	15	202	26	971
壮瞥町	153	701	552	30	273	24	695	25	2,453
白老町	497	2,887	2,600	184	2,579	188	3,729	128	12,792
早来町	198	1,011	1,022	32	448	37	750	57	3,555
追分町	62	380	493	11	486	11	1,455	26	2,924

候補者名		土田 (無・新)	弘 たかぎ (自・現)	正明 (自・現)	岩本 政光 (自・現)	純二 ごうだ (社労・新)	小笠原 貞子 (共・現)	野上 ふさ子 (みどり・新) (の連合)	つしま 孝且 (社・現)	とべり へい (無・新)	有効投票
市町村名											
厚真町	厚真町	326	1,281	882	25	481	43	1,078	38	4,154	
鵜川町	鵜川町	219	1,393	1,027	46	998	40	1,391	41	5,155	
穂別町	穂別町	111	599	582	18	509	17	1,050	20	2,906	
胆振支庁計	胆振支庁計	2,092	11,221	10,005	447	7,394	503	13,877	463	46,002	
日高町	日高町	66	316	428	13	280	12	748	8	1,871	
平取町	平取町	230	1,131	1,008	26	618	36	1,512	32	4,593	
門別町	門別町	364	1,818	1,970	74	1,225	62	2,159	67	7,739	
新冠町	新冠町	156	836	924	22	587	45	1,129	42	3,741	
静内町	静内町	525	2,817	2,851	113	2,167	161	4,393	98	13,125	
三石町	三石町	147	1,173	1,029	26	539	24	1,083	17	4,038	
浦河町	浦河町	279	1,937	1,953	96	2,000	73	3,555	69	9,962	
様似町	様似町	115	1,176	1,332	29	508	28	1,266	23	4,477	
えりも町	えりも町	113	1,172	1,124	53	583	38	1,124	50	4,257	
日高支庁計	日高支庁計	1,995	12,376	12,619	452	8,507	479	16,969	406	53,803	
音更町	音更町	5,335	5,645	2,887	91	2,978	154	1,716	114	18,920	
士幌町	士幌町	1,505	1,464	641	13	680	21	132	30	4,486	
上士幌町	上士幌町	2,053	1,082	475	19	314	21	248	18	4,230	
鹿追町	鹿追町	1,503	1,364	772	9	292	21	136	7	4,104	
新得町	新得町	2,834	1,211	730	25	474	41	249	36	5,600	
清水町	清水町	2,732	1,808	1,453	46	1,135	51	481	45	7,751	
芽室町	芽室町	3,970	2,767	997	46	1,415	70	655	49	9,969	
中札内村	中札内村	1,201	499	381	14	252	8	103	6	2,464	
更別村	更別村	822	876	268	15	162	15	76	6	2,240	
忠類村	忠類村	502	356	210	2	245	8	51	9	1,383	

大樹町	1,624	1,739	783	20	505	20	298	20	5,009
広尾町	1,858	1,757	1,588	19	814	76	344	23	6,479
幕別町	4,451	3,666	1,615	59	1,921	63	920	53	12,748
池田町	3,447	1,142	1,164	34	517	48	279	32	6,663
豊頃町	1,397	1,093	555	11	375	21	145	27	3,624
本別町	3,284	2,156	1,264	55	508	37	422	38	7,764
足寄町	3,132	2,101	972	50	693	58	298	37	7,341
陸別町	1,261	866	469	13	323	25	86	13	3,056
浦幌町	2,327	1,163	1,343	32	456	36	473	57	5,887
十勝支庁計	45,238	32,755	18,567	573	14,059	794	7,112	620	119,718
釧路町	225	2,296	2,098	84	1,532	67	2,148	99	8,549
厚岸町	277	2,573	1,641	74	1,787	157	2,185	94	8,788
浜中町	146	1,980	895	85	627	35	1,442	58	5,268
標茶町	501	1,804	1,388	30	907	45	2,115	48	6,838
弟子屈町	373	1,751	1,541	53	576	45	2,260	34	6,633
阿寒町	183	1,280	952	63	551	52	1,341	34	4,456
鶴居村	40	631	438	13	252	19	263	15	1,671
白糠町	239	1,254	1,770	71	1,064	71	2,808	56	7,333
音別町	91	727	570	19	285	21	487	31	2,231
釧路支庁計	2,075	14,296	11,293	492	7,581	512	15,049	469	51,767
別海町	858	3,616	1,971	44	1,517	108	2,193	111	10,418
中標津町	904	2,762	2,510	85	1,233	123	3,824	97	11,538
標津町	202	1,342	740	43	376	45	1,384	64	4,196
羅臼町	310	1,148	1,106	35	370	69	1,059	71	4,168
根室支庁計	2,274	8,868	6,327	207	3,496	345	8,460	343	30,320
町計	186,539	215,805	174,787	6,197	115,939	7,007	158,481	6,232	.870.987

11 月 の メ モ

1 日 ○女性 7 人が集団自殺 和歌山市の海岸浜辺で新興宗教団体「真理の友教会」の女性信者 7 人が、前日、病死した教祖の後を追って灯油をかぶって集団自殺した。

○「国鉄最後」の改正ダイヤがスタート
来春発足予定の新会社に引き継がれる「国鉄最後」の改正ダイヤがスタート。
増発本数 2,050 本は過去最高。

3 日 ○秋の叙勲に 4,584 人 秋の叙勲と賜杯は、39年に春秋 2 回の生存者叙勲制度が始まって以来最高の 4,584 人が受章。勲一等旭日桐花大綬章が財界人として初めて土光敏夫元経団連会長に贈られた。

4 日 ○首相、アイヌ問題で答弁 中曽根首相は衆院予算委員会で、北海道旧土人法の見直しについて、「時代にそぐわないので廃止を含めて再検討を始めた」と述べ名称変更だけでなく内容にも立ち入って再検討を行っていることを明らかにした。

○横路知事、再び立候補を表明 横路孝弘知事は、来年 4 月の知事選に、「道民党」の立場から再び立候補することを正式に表明した。

5 日 ○米中間選挙、上院で民主党が過半数 上院の 3 分 1 の (34 議席) と下院の全議席 (435)、36 州知事の改選を軸とする米国の中間選挙が行われ (4 日)、即日開票の結果、上院では民主党が 8 議席増の 20 議席を獲得し、新議会の構成を民主 55、共和 45 と完全に逆転させた。下院でも優位を広げて両院での多数を実現、来年 1 月からの新議会の運営主導権を握った。知事選では共和党が民主党から 8 州を奪い、非改選を合わせて 50 州中 24 州知事を占め、26 州の民主党とはほぼ伯仲するまで勢力を伸ばした。

6 日 ○動燃、工事中機材をヘリコプターで調査地内に搬入 動燃は幌延の貯蔵工学センター立地環境調査に伴う深層ボーリングに着手するため、最後の工事中機材をヘ

リコプターで調査地内に搬入した。

8 日 ○首相が中国訪問 中曽根首相は日中青年交流センターの定礎式出席のため 2 日間の日程で中国を訪問。胡耀邦中国共産党総書記と会談し、平和友好などの日中 4 原則を再確認した。

○タイ機事件の組員逮捕 タイ国際航空機内で手投げ弾が爆発、62 人がけがを負った事件で、大阪府警は山口組系暴力団員中川制毅 (43) を航空危険法違反の疑いで逮捕した。

9 日 ○家族 4 人殺し放火 東京都杉並区の建築会社社長方から出火、焼け跡から社長ら 1 家 4 人が他殺体で見つかった (8 日)。
警視庁は殺人、放火事件と断定、次男を逃走先の宮城県内で逮捕した。

○網走市長選で安藤哲郎氏が 4 選 網走市長選は即日開票の結果、現職の安藤哲郎氏 (60) が、新人で共産党公認の松浦敏司氏を破り、4 選。

10 日 ○アキノ比大統領が首相と会談 フィリピンのアキノ大統領が来日し中曽根首相と会談、首相は 400 億円の特別借款の供与を約束するなど、フィリピン経済再建に協力を惜しまないことを強調した。

○60 年国勢調査の確定値を発表 自治省は 60 年国勢調査の確定値に基づき衆参両院の「一票の重み」の格差を発表した。衆院の最大格差は 2.99 倍、参院は 6.03 倍と初めて 6 倍を超えた。

○心臓移植の牧野さん死去 59 年 5 月、アメリカで心臓移植手術を受けた牧野太平さん (44) がじん不全と肺の感染症のため死去。心臓移植手術を受けたのは日本人としては 2 人目だった。

○旭川市長選で坂東徹氏 (61) が 3 選 旭川市長選は無所属で現職の坂東徹氏 (61) が、無所属の佐々木秀典氏、同じく無所属の内沢千恵氏を破り 3 選を果たした。

11 日 ○鉄鋼、最悪の業績 鉄鋼大手 5 社が 9 月中間決算 (4 ~ 9 月) を発表。各社とも記録的な大幅減収、赤字決算で、実質経営赤字は 5 社合計で 1,840 億円に達し、戦後最悪の決算となった。

- 12日 ○国内炭撤退路線の答申案まとまる 円高で競争力を失った国内炭生産の縮小と閉山の促進をうたった第8次石炭政策の答申案が、石炭鉱業審議会の政策部会でまとまった。
- 13日 ○比・人民党議長殺害 フィリピンの左翼政党「人民党」(PNB)のロランド・オラリア議長がマニラで誘拐され(12日)、マニラ東方約20キロの丘陵地帯で虐殺死体で発見された。
- 米大統領、イランとの秘密交渉を認める バイルートの米人質問題に絡んで、米国がイランに対し秘密工作を行っていた疑惑問題に関し、レーガン大統領は秘密折衝を行うとともに兵器の供給を承認したことを認めたが、兵器の輸出と人質解放工作との間には何の関係もないと釈明した。
- 14日 ○全民労協が1年後に「連合」へ移行 民間の主要単産を中心に労働界の再編・統一を目指す全日本民間労働組合議会は総会を開き、来年11月20日に「全日本民間労働組合連合会」へ発展改組することを決めた。
- 日米繊維交渉が決着 昨年末で期限切れになった日米繊維協定の改定交渉は、綿、毛、化合繊維を対象に今年1月にさかのぼり89年12月まで4年間、日本からの輸出を規制するなど、日本側の大幅な譲歩で決着した。
- ソ連書記長来日、1月困難を示唆 シェワルナゼ・ソ連外相は、梁井外務審議官との会談で、ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長の訪日について日本側が望んでいる1月訪日が困難なことを示唆した。
- 15日 ○三原山が噴火、全島民脱出 伊豆大島の三原山が12年ぶりに噴火(15日)。溶岩が内輪山を越えて外輪山との間はカルデラ内に流出し、火口茶屋などを炎上させた(19日)。さらにこの噴火口から1.5キロ離れたカルデラ内でも大噴火、北に向かって、2本合わせて約2キロの割れ目噴火となった。溶岩が元町地区に迫ったため全島住民約10,300人と観光客に島外への避難命令が出された。
- 三井物産マニラ支店長誘拐 フィリピン・マニラの南約50キロのカルパン地区で、ゴルフ場から車で帰宅中の三井物産マニラ支店の若王子信行支店長(58)が、フィリピン人と思われる武装した5人組に誘拐された。
- 17日 ○将棋の木村名人死去 将棋界最初の実力名人で、「木村時代」を築いた木村義雄14世名人が急性白血病のため死去した。81歳。
- 仏ルノー公団総裁、暗殺 フランス国営企業ルノー公団のベス総裁がパリ市内の自宅近くで射殺された。仏の極左グループ「直接行動(アクション・ディレクト)」が犯行声明。
- 金日成主席の死亡説 韓国国防省は休戦ライン付近で、北朝鮮が対南拡声器を通じ、金日成主席が銃撃で死去したと放送した、と発表、全国の警察に対し甲号非常令を発令したが(17日)、金主席がモンゴルの人民革命党書記長出迎えのため平壤空港に姿を現し、その健在が証明された(18日)。
- 19日 ○米大統領、対イラン武器供与で責任認める レーガン米大統領がイランとの秘密折衝、武器供与問題について記者会見し、米政府内に意見の対立があったことを初めて公式に認め、「私が決断した。責任はすべて私が負う」と語った。
- 20日 ○竹入公明党委員長が正式に辞意 公明党の竹入委員長は常任企画委員会で、12月の党大会の折に委員長を辞任する考えを正式に表明。後任に矢野書記長を推薦した。
- 23日 ○エンレリ国防相を更迭 フィリピンのアキノ大統領は、かねてから公然と同大統領を批判してきたエンレリ国防相の辞表を受理し、後任に反マルコス派軍人で国防次官のイレト氏を任命(23日)。さらに2閣僚を更迭。
- 25日 ○現金輸送車が襲われ、約3億3,000万円奪われる 三菱銀行有楽町支店前の路上で、同支店などへの現金を運んでいた現

金輸送車が3人組の男に襲われ、現金3億3,300万円入りのケース2個が強奪された。犯人は現場にとめていた白いワゴン車で通行人らの目の前を逃走。1時間後、現場から500米離れた地下駐車場に放置されている車と空のケースが発見された。

○政府・自民党、税制改革の骨格決める
政府・自民党は税制改革の骨格を決めた。内容は①マル優、郵貯など貯蓄非課税制度を廃止し一律分離課税を導入、税率を15%とする②日本型付加価値税(税率5%)は、年商1億円未満の業者を非課税として導入するなどとなっている。

○対イラン武器供与に絡む代金横流して米補佐官ら更迭 レーガン米大統領は、対イラン秘密工作の実行に誤りがあったとして、ポインデクスター大統領補佐官(国家安全保障問題担当)と、その工作に中心的な役割を果たした国際安全保障会議政治軍事担当部長のノース海兵隊中佐を解任する、と発表した。

26日 ○高川名誉本因坊が死去 囲碁の本因坊戦で不滅の9連覇を達成した日本棋院の高川秀格名誉本因坊が前立腺がんのため、東京都の日本医大付属病院で死去、71歳。

○米、SALT II を廃棄 レーガン米大統領は、第2次米ソ戦略兵器制限交渉(SALT II)の規制を超える戦略核兵器配備の決定を行い、議会に通知(26日)、核弾頭巡航ミサイルを装備したB52略戦爆撃機をテキサス州に配備した(28日)。

○比政府、NPA と停戦協定 フィリピン政府と共産ゲリラを代表する民族民主戦線(NDF)は、暫定停戦期間を12月10日から60日間とすることなどで最終的な合意に達し調印した。

○道教委、62年度公立高校適正配置計画を定める 道教委は62年度公立高校適正配置計画を決めた。中卒者の急増学区を中心に2校を新設するほか、学級増、学級減差し引き22学級、1,174人を増やした。

27日 ○三菱高島砒閉山 三菱石炭鉱業高島砒業所(長崎県高島町)が閉山し、827人の鉱員を全員解雇した。105年の歴史を持つ国内最古の炭鉱が、国内炭撤退路線をとる第8次石炭政策で閉山第1号となった。

○ソ連書記長インド訪問、両国首脳が「デリー宣言」 ゴルバチョフ・ソ連書記長はインドを訪問し(25日)、ガンジー・インド首相と共同で、核禁止協定などを呼びかけた「デリー宣言」に署名した。

28日 ○「国鉄法」が成立 国鉄分割・民営化関連8法は参院本会議で自民、公明、民社各党、新政クラブ、サラリーマン新党と一部無所属の賛成多数で可決、成立した。

○66年度の国内炭1,000万トンに 第8次石炭政策の答申が石炭鉱業審議会で決まり、66年度の国内炭生産量を現状より500万トン少ない約1,000万トンにすることになった。全国の主要11炭鉱のうち残るのは3~5鉱になる見通し。

30日 ○3億円事件、現金の一部発見 東京・有楽町の三菱銀行有楽町支店前で強奪された3億3,200万円のうち、千円札だけ1,500万円が、港区元赤坂の豊川稲荷地下駐車場に置き去りにされていたことがわかった。

12 月 の メ モ

1 日 ○赤ちゃんパンダの名前は「トントン」に
東京・上野動物園の赤ちゃんパンダの名前は、応募27万通の中から「トントン」(童童)が選ばれた。

○釧路市に4年制文科系公立大学開設計画
自治省が釧路市を中心とする近隣市町村の4年制文科系公立大学開設計画を正式に許可した。

2 日 ○浜田、タイトル防衛 世界ボクシング評議会(WBC)の世界ジュニアウェルター級タイトル戦で、チャンピオン浜田剛史は同級5位ロニー・シールズ(米国)に判定で勝ち、初防衛に成功した。

4 日 ○男女賃金格差に無効判決 男女の性別で賃金に差をつけるのは違法と、日本鉄鋼連盟の職員7人が3年間の差額賃金など計約270万円の支払いを求めた訴訟で東京地裁は「女子を男子より不利益に定めた賃金協定は無効」と述べ、同連盟に総額69万円の支払いを命ずる判決を言い渡した。

○大蔵、自治体補助のカット公表 大蔵省は来年度から農業改良普及員など地方自治体向けの人件費、事務費を中心とした一部の補助金の全額カットを決め、細かな内容を公表した。

5 日 ○税制改革が決着 自民党税制調査会の山中貞則会長は税調小委員会で、4兆5,000億円規模の所得、住民、法人税減税を行う一方、同規模の増税として①「売上税」(日本型付加価値税)を新設し、63年1月から実施する。税率5%以下、年間売上高1億円以下は非課税とする②マル優、郵便貯金の利子非課税制度を老人、母子家庭を除いて廃止し、20%の一律分離課税とする、との私案を提示(4日)。党税調総会で了承され、党総務会で正式に決定した。

○公明党大会で新体制発足 公明党の全国大会が開会(4日)し、第4代委員長に

矢野絢也書記長が就任、書記長に大久保直彦副書記長が昇格した。

○7-9月期の成長率、年率で2.6%の伸び 経済企画庁の国民所得統計速報で、7-9月期の実質国民総支出の成長が前期比0.6%、年率換算で2.6%の低い伸びとなった。

6 日 ○ソ連水域有償入漁で合意 日ソ200カイリ漁業交渉は、62年の日ソ200カイリ内の漁獲割当量を双方とも20万トンとするほか、10万トンの有償漁獲量を日本に割当てるなどを決め妥結(6日)、調印した(10日)。

7 日 ○幌延町長選で新人の上山利勝氏(59)が初当選 高レベル放射性廃棄物施設誘致の是非が最大の争点となった留萌管内幌延町長選挙は、施設誘致推進派で新人の上山利勝氏(59)が同じ推進派の現職・成松佐喜男氏と反対派の菊地利夫氏を破り、初当選を果たした。

8 日 ○仏、大学改革法案を撤回 パリ市内で大学改革法案に反対する学生の大規模なデモがあり学生1人が死亡。改革案作成の責任者、ドバケ高等教育・研究担当相はシラリ首相に辞表を提出(6日)。政府は法案の撤回を発表した。

○会計検査院、室蘭市に補助金の返還、起債の繰り上げ償還の方針 室蘭市が財源ねん出の便法として市有地をいったん外郭団体に売り、買い戻した際、国、公的機関から不当に起債や補助金を受けていた問題で会計検査院は起債残高約5億円の繰り上げ償還と、補助金660万円を返還させる方針を固めた。

9 日 ●第4回定例道議会開会

○ビートたけしら講談社へ殴り込み 講談社の写真雑誌「フライデー」の編集局に、タレントのビートたけし(39)と「たけし軍団」のメンバー11人が押しかけ、同誌の取材が強引すぎるなどと、編集局員5人に暴行を加え、メンバー12人が暴力行為と傷害の現行犯で逮捕された。

10 日 ○比の停戦協定発効 フィリピン・アキノ政権と共産勢力との暫定停戦協定の詰め

の交渉が決着。協定は10日発効、期間は62年2月7日までの60日間。

- 12日 ○伊豆大島へ全員帰島決定 予知連の「噴火休止」見解を受け、東京都災害対策本部は、20日に避難命令を解除、19日夜の第1陣から22日までに、避難住民の全員帰島を決めた。
- 15日 ○北電、料金引き下げを正式決定 北電は円高・原油安による62年1年間の差益還元を総額240億円強、それによる料金引き下げを1世帯平均月額約250円とすることを正式決定。
- 太平洋炭鉱釧路鉱業所、一時帰休案を提示 太平洋炭鉱釧路鉱業年は同炭鉱労組に、生産体制の縮小に伴う全従業員を対象とした一時帰休案を提示した。
- 16日 ○卸売物価、0.3%上昇 日銀が発表した11月の卸売物価は、国内物価と輸出入物価を合わせた総合指数（昭和55年平均＝100）で87.0となり、前月比0.3%アップと60年2月以来21か月ぶりに上昇に転じた。
- 17日 ○ベトナム共産党大会で新書記長 ベトナム共産党の第6回党大会で、チュオン・チン書記長(79)、ファン・バン・ドン首相(80)、レ・ドク・ト政治局員(76)の長老は高齢を理由に辞任を承認された(17日)。新書記長にグエン・バン・リン政治局員兼常務書記(71)が選ばれた(18日)。
- 18日 ○酒税を改革 大蔵省は酒税について、従価税を廃止して新設の売上税に置き換え、従量税に一本化するなどの改正案を自民党税制調査会の正副会長会議に示し、了承された。
- ソ連が核実験再開を表明 ソ連政府は昨年8月から続けているすべての核実験の一方的凍結を、来年、米国の最初の核実験後に解除、実験を再開すると発表した。
- 19日 ○老人保健法改正が成立 老人保健法改正案は、老人医療費の自己負担増加額を抑えるなどを修正、成立した。
- 三原山再噴火 伊豆大島三原山が、全員帰島の第1陣、出発の前夜、25日ぶりに

噴火した(18日)。東京都対策本部は、噴火が拡大する可能性は少ないと判断、第1陣は予定通り出発した。

20日 ●第4回定例道議会閉会

- OPEC、固定18ドル合意 ジュネーブの石油輸出国機構(OPEC)総会は、平均で1バーレル＝18ドルの新固定価格体系を決定、来年、第1、第2・4半期(1～6月)の生産上限を日量1,580万バーレルに削減することで合意し、閉幕。
- 「札幌テクノパーク」が完成 札幌市が全国初の先端産業集積基地を目指して同市白石区厚別町下野幌に造成していた「札幌テクノパーク」の完成式が現地で行われた。
- 22日 ○小学1年誘拐殺人で死刑判決 今年5月、東京都で小学1年生本間裕士ちゃんが誘拐された事件で、東京地裁は元鉄筋工須田房雄被告(46)に死刑の判決を言い渡した。
- 62年度税制改正大綱決まる 自民党税制調査会は、所得税、住民税、法人税の税率構造見直し、売上税(日本型付加価値税)導入、マル優(少額貯蓄非課税制度)廃止などシャープ勧告以来の大規模な税制改革の細目を盛り込んだ62年度税制改正大綱案をもとめ(22日)、決定した(23日)。
- 23日 ○消費者麦価、14年ぶり値下げへ 米価審議会は円高差益を還元するため、パンやめん類、菓子類などの原料となる麦の政府売り渡し価格(消費者麦価)を平均5.0%値下げすることを、政府諮問通り答申した。実施日は来年2月5日。値下げは47年以来14年ぶり。
- 無給油、無着陸で地球1周 9日間をかけて4万キロを無給油・無着陸による初の世界一周飛行に成功したアメリカの軽量実験機「ボイジャー」が、カリフォルニア州エドワーズ空軍基地に無事帰還した。
- 動燃、深層ボーリング開始 留萌管内幌延町で貯蔵工学センターの立地環境調査

を進めている動力炉核燃料開発事業団は同調査の最終段階である深層ボーリングを開始した。

- 24日 ○来年度は3.5%成長 政府は経済対策閣僚会議と、臨時閣議で、「名目4.6%、実質3.5%」という「62年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」を正式決定した。円高デフレの影響が続くとの判断から、雇用の安定と内需の拡大などを掲げている。

○超緊縮の62年度予算大蔵原案 政府は臨時閣議で、62年度の一般会計予算を総額54兆1,010億円（前年度当初予算比0.02%増）、財政投融资計画を25兆2,792億円（同14.1%増）とする大蔵原案を了承し、各省庁に内示した。一般会計は、昭和30年度に前年度比マイナスの予算を組んで以来33年ぶりの低い伸び。

○来島どっく再建計画同意 来島どっく（坪内寿夫社長）は、来島どっくグループ全体の再建計画と金融支援措置について、日本債券信用銀行を中心とする取引銀行の同意が得られた、と発表した。

- 25日 ○新日本製鉄、設備の休廃止固める 新日本製鉄は、設備休廃止の概要を固めた。高炉が1基しかない室蘭、釜石、堺、広畑の4製鉄所で、来年度から1、2年ですべて高炉を休止し、現在の9製鉄所、高炉12基体制から同8基体制に減少する。

○イラク機乗っ取られ爆発 バグダッド発アンマン行きのイラク航空旅客機が乗っ取られ、サウジアラビアの空港近くで爆発し、乗客62人が死亡。「革命的行動組織」「イスラム聖戦機構」の組織が犯行声明を出した。

- 27日 ○中国で学生デモ続く 南京市で4日連続の学生デモがあり（25日）、また北京大構内に「1党独裁体制」や万里政治局員（副首相）を批判する壁新聞が張り出された（27、28日）。さらに北京市中心部で、数人の学生が当局に連行されたことに抗議して北京大生を中心に数千人の学生デモがあった（1日～2日）。

- 28日 ○鉄橋から列車転落、従業員ら6人死亡

兵庫県城崎郡香住町余部で国鉄山陰線の鉄橋を通過中の回送列車が突風にあおられ、約40メートル下の水産加工場や民家に転落。加工場の従業員ら6人が死亡、6人が重軽傷を負った。

- 29日 ○防衛費、1%枠を突破 62年度予算案編成の政治折衝で、防衛費を対国民総生産（GNP）比1.004%とすることが決まり、三木内閣が閣議決定して以来守り続けたGNP比1%枠を突破した。

○北朝鮮の新首相に李氏 北朝鮮は最高人民会議を開き、金日成国家主席を再選するとともに李根模新首相をはじめ経済実務者を登用して政務院の顔ぶれを一新。

- 30日 ○62年度予算政府案決まる 政府は臨時閣議で、62年度の一般会計予算を総額54兆1,010億円（前年度当初予算比0.02%増）、財政投融资計画を27兆813億円（同22.2%増）とする政府案を決定した。

62年度道開発予算案は、総額6,785億2,370万円と確定し、本年度当初予算に比べ1.1%、75億の減額。

○川田正則代議士死去 本道2区選出の自民党代議士川田正則氏が、肝不全のため東京の虎の門病院で死去。63歳。

- 31日 ○年間誕生2番目の少なさ 厚生省がまとめた「昭和61年人口動態統計の推計」によると、61年1年間に生まれた子どもは137万8,000人。これは、「ひのえうま」の41年を除けば、明治32年以来最低。

○ホテル火災で死傷者多数 米自治領のプエルトリコのサンファンの高級ホテル「ボェボン・プラザ」で火災が発生、米、カナダなどからの観光客ら95人の死亡が確認された。

○本道の交通事故死全国一を返上 本道の交通事故死者数が49年以来12年ぶりに全国一を返上。

64年 はまなす国体
君よ今、北の大地の風となれ

北海道議会時報昭和61年第4号
昭和62年3月11日発行（通巻第38巻第4号）

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局